

## 国文学研究資料館報

第2号

昭和48年8月28日

## 共同利用機関について

国文学に関する文献その他の資料の調査研究、収集、整理および保存を行ない、広く国文学の研究者に利用させる機関として昭和四十七年度に設置された国文学研究資料館は、整備三年計画の第二次を迎えた。昭和四十八年度は五、〇〇〇点の資料の保存のためにマイクロフィルムで収集し、また前年度収集したマイクロフィルムから利用のためのマイクロフィルムを作成するなど収集事業をいっそう拡充するとともに、収集した資料の整理を行なうため、新規に人員十五人を増員し、予算額も前年度比六、九四九万円増の一億三〇一万二千元が計上された。

文部省は学術の振興を目的として、重要基礎研究を推進するために、国文学研究資料館のほか次のような共同利用（直轄）研究所を昭和四十八年度文教予算の対象としている。

（参照、『昭和四十八年度国と地方の文教予算』文部省）

○国立極地研究所の創設。極地に関する科学の総合研究及び極地観測を目的として、昭和四十八年度において国立大学等の共同利用の研究所として創設し、昭和五十年までの三年間に施設設備、組織等の整備等を行なう予定である。（東京都板橋区加賀一―九一―〇。旧極地研究センター敷地）

○国立民族学博物館（仮称）の創設準備。世界の諸民族の社会と文化に関する総合的な研究調査を行なうとともに、これらに関する資料を収集整理、保存し、研究者および公衆の利用に供することを目的とする「民族学研究博物館」について、昭和四十六、四十七年の両年度にわたり、その設置形態、組織運営等に関する必要な調査を実施した。四十八

## 目次

共同利用機関について	1
国文学研究資料館の設計について	3
古典保存の必要	4
麻生磯次	5
国語国文学会連絡協議会	5
文献資料部事業報告	6
大久保正	6

研究情報部事業報告	10
古川清彦	10
受贈雑誌目録	12
受贈図書目録	24
評議員名簿・職員名簿・組織図	30

年度は、これらの調査結果をふまえ、四十九年度創立を期して創設準備を行なうこととなった。建設場所としては日本万国博覧会跡地（大阪府吹田市）の一部を予定している。

○高エネルギー物理学研究所。高エネルギー陽子加速器による素粒子に関する実験的研究及びこれに関連する研究を目的として、筑波研究学園都市で昭和四十六年度に発足した高エネルギー物理学研究所は、建設四年計画の第三次を迎えた。

このような共同利用（直轄）研究所は共同利用機関として学界の注目を浴びているので、国文学研究資料館としても共同利用問題検討委員会を館内に設けて館長の諮問に答えているが、以下はその一応の中間報告である。

## まえがき

五回にわたる会議で多方面にかゝる討議・検討がなされた。高エネルギー研、AA研など共同利用研究所の諸規則実態を参考にしながら直接には将来外部の研究者が参加して然るべく運

営されるべき「共同研究」の企画、運営を考えようとした。問題点として討議されたのは共同利用研究機関の性格、流動的・客員教授、国立大学文庫センター、各種の共同研究活動、等である。

しかしこれらの事はすべて他ならぬ共同利用機関である当館の性格（法的性格、組織、機能、業務、その目標）の確認が前提となる事に思い至った。「共同研究」は当館の事業の一環として行われるべきであって当館の性格と切り離して考える事は出来なかつた。

「共同研究」の企画運営は当館の性格と緊密に関連するところであって、従って創設期の現段階では当館の性格、特に史料館との関係を明瞭にしつつ、先ず直接の業務のあり方について検討すること、その延長上に「共同研究」を企画することが望ましい。

共同利用問題検討委員会一覽  
第一回 昭和四十八年二月十四日

(水)

- 一、共同利用研究所とは何か
- 二、共同研究費について
- 三、国立大学文献センターとは何か

## 第二回 昭和四十八年三月二十八日

(水)

- 一、共同研究費・旅費について
- 二、流動研究員・客員教授について

## 第三回 四月十八日(水)

- 一、筑波法案について
- 二、東京外国語大学 A・A 研の機構

- 三、共同利用係長の業務(高エ研)

## 第四回 五月十六日(水)

- 一、各研究所の共同研究活動について(前回より継続)
- 二、共同研究活動の実態

- 共同研究会・研究集会・国際交流・講演会 その他

## 第五回 六月十三日(水)

- 一、共同利用について
- 二、業務と共同研究について
- 三、その他

## 第六回 七月四日(水)

- 一、報告書の作成
- 二、その他

## 一 法的根拠について(管理部)

国立学校設置法の一部改正法案によれば、同法にあらたに第三条の三を設け、『国立大学共同利用機関』という名称があげられているが、現

行の国立学校設置法においては、このような名称はない。

現行の国立学校設置法においては、その第四条第二項に、

前項に掲げる研究所のほか、国立大学の教員その他の者で当該研究所の目的たる研究と同一の研究に従事するものに利用させるため、国立大学に、次の表に掲げるとおり、研究所を附置する。

大学の名称	研究所の名称	位置	目的
東京大学	宇宙線観測所	長野県	宇宙線の観測及び研究

という規定があり、いわゆる『国立大学附置の共同利用研究所』の設置根拠と云われている。

また同法第九条には、高エネルギー物理学研究所について、同法第九条の二には、国文学研究資料館について、それぞれ、

国立大学における学術研究の発展に資するための国立大学の共同利用の研究所(施設)として………研究に従事するものに利用させる機関とする。

という規定があり、高エネルギー物理学研究所および国文学研究資料館が、それぞれ『国立大学の共同利用の機関』である旨の法的根拠とされている。

このような共同利用に関する規定は、上記のほか、国立学校設置法施行規則(文部省令)において、学内共同利用施設(第二十条の三)、全国

共同利用施設(第二十条の四、第二十条の五)に関する規定がある。

## 二 予算関係について(管理部)

上記一による、いわゆる『共同利用の機関』は、国立学校設置法第四十条第二項、第九条および第九条の二の規定にあるように、その業務内容は、『研究』に関連するものと、『利用』に関連するものとに大別される。

従って、これらの『共同利用の機関』に関する予算関係は、当該機関の管理運営に関連するもののほかに、『研究』に関連するものと『利用』に関連するものが、その主要な柱となっている。

このうち『研究』に関連するものは、主として教官研究費と教官研究旅費であり、『利用』に関連するものは、いわゆる事業費である。なおこの事業費の内容は、それぞれ当該機関の性格によって相違がある。

## 三 業務と共同研究(文献資料部)

「共同利用」について文献資料部は、国文学文献資料(作品・注釈書等の伝本等)の調査・研究・収集を目的とするプロジェクトチームを作ることとを企図している。チームの構成員は、客員・流動研究員等さまざまな場合が考えられるが、その主体となる。

この場合委員会制も考えられる。共同利用の目的(成果)として予想される例

本文校定、索引(併合もありうる)年表作製(新国歌大観、日本小説年表など)

## (研究情報部)

わが研究情報部の業務は学術情報の収集、収集された資料の整理と閲覧、情報・資料の編集、電子計算機による索引システムの開発など多岐にわたる。文献資料部の業務がかりに学術資料対策であるとすれば、研究情報部の業務は利用者対策であるといえよう。

当館の業務は全体として学術体制のマネージメント、学界へのサービスの色彩が濃いが研究情報部の業務は端的にその典型を示している。この部において研究者と資料・情報処理の専門家の性格をかね備えた新し

いタイプの教官を迎えまたは養成して共同利用研究機関としての当館活動のかなめとなすべきであろう。いずれにしてもこの部の業務が在来の概念による国文学研究者ではなく新しいタイプの教官を必要としている点についての配慮と決断が迫まられている。

業務についての以上の問題が解決されたとして、その業務の延長上に次の様な共同研究が考えられる。

「研究文献目録」「同速報」の作成  
複製・翻刻——最良の底本になる作品の提供

本文校訂により最良のテキストを作る

語彙索引・総索引・説話類型索引・和歌索引などの作成

ジャンル別の年表（或は書誌解題など）

電子計算機による索引システム、シソーラスの研究

#### （史料館）

ここにいる業務とは、国立学校設置法第九条第二項をうけた組織運営規則（省令第二十五号）の第五条にいう「わが国の史料で主として近世のものの調査研究、収集、整理、保存及び閲覧」のことである。これらの業務は、文部省史料館として二十余年にわたる実績をもっており、今

後も、これらの業務を中核として、史料館の運営がなされるべきものと考ええる。

従って、業務と共同利用の問題については、基本的には、上記の本来の業務を中軸にしながら、その延長線上において、これらの業務に即し

## 国文学研究資料館の設計について

国文学研究資料館には大学の共同利用施設として、図書館的な役割を持つ空間、公開することを原則とする展示、会議などを行う場所、調査研究室、管理（庶務・会計）部門などがあり、設計者側としてはやりがいのある建物だと思いました。さて設計するにあたってチェックしますと困難な問題が多く出て来りました。

ヘレンケラーは三重苦でしたが、設計するにあたって出て来た問題は五重苦でした。その五つとは

一、敷地が緑地予定地になっているため建ぺい率（敷地に対して一階に当る面積の制限）がきびしい事  
二、最近の住民パワーにも見られる様に日照権の問題（回りに民家が建ち並んでいて高層には出来ない）

た共同利用・共同研究について考慮されるべきものと考ええる。当面は、内地留学生の受入れなどが考えられよう。

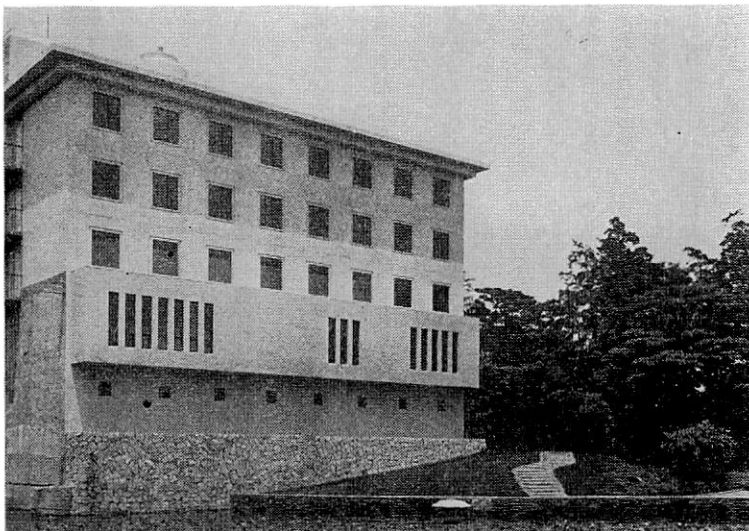
#### （参考）

委員会氏名一覧  
委員長 研究情報部 古川 清彦

三、既設の昭和三十七年度の鉄筋コンクリートの建物が解体出来ない  
（よい位置に建っている）

四、敷地内のよい環境をこわさない  
為に樹木を切らない方針

五、移行計画のため既設の史料館の建物は当初は



委員	管理	吉野 幸夫
文獻資料部	松田 修	
研究情報部	福田 秀一	
史料館	本田 康雄	
藤村潤一郎		
原島 陽一		

こわせない、

というような問題が出て来て設計には非常に制約を受け頭をかかえました。これらの問題を解決するため何回も計画を行い現在の形になったわけですが、外観等は国文学ということもあって、ある程度日本的なイメージを出そうという事を念頭におき、又東京には数少ない緑の環境を大切に、それにマッチする建物を作りたいと念願して設計しました。

建物の特徴としては、図書の閲覧部門に大きな空間を取りゆったりと読書に親しめるようにした事、書庫は限られた面積内に収容能力を増すため電動書架(電気で書架が動き単位面積当りの収容能力が一番大きい)をもうけたこと、本の保存にはもちろん、居住性を高めるために全館冷暖房にした事など格別に留意しました。

(工事のこれから予定)

今回第一期工事が完了したわけですが第二期(四十九年度予定)は展示室、大、中、小、会議室、管理部、研究部門の残り、電子計算機室、エネルギー室、等を建築し、第三期(五十年年度予定)では既設建物を書庫に改修すること、構内の環境整備工事を行う予定になっていきます。今回完了しましたのは全体計画

のうち図書部門に一部研究部門を加えただけであって、私達設計者にとっては全体が出来ることによって初めて建物としての機能を發揮し、当初の目的に達する建築物が出来るわけで全体が出来ましたら設計者として

## 古典保存の必要

麻生 磯次

て御利用者の皆様の御批判をおおぎたいと思っております。

文部省管理局教  
育施設部工務課

鈴木 昭治

資料の蒐集保存などということ  
は、機械的な労作であって、文学の本質的研究とは縁遠いもののように

いう人がある。だがこれはたいへん思いあがった考え方であって、資料の整備がなければ、りっぱな正しい研究はできるはずがない。

こんなことを考える時に、いつも思い出すのは、関東大震災以前に東大図書館に所蔵されていた蒼大な馬琴の日記である。

私は学校を出ると間もなく朝鮮総督府の編修官になり、内地の小学校に当る普通学校の教科書を書いていたら、国文の研究には役に立ちそうもないと思つて、二年あまりで辞任し、再び東大に帰り、大学院に籍を入れた。そして図書館長の和田萬吉先生にお願いして図書館の嘱託にしてもらつた。どういふ書物が所蔵さ

れているかをしみじみと見たいと思つたからである。

ずいぶん貴重な書物が並んでいたが、今でも目の前に浮かんで来るのは、滝沢馬琴の日記である。細かく丹念に記録された十数年間の日記であつた。その中には失明直前のものもあつて、手さぐりで大きな字を書き、その上にまた他の字を書くというような悲惨な日記もあつた。

貴重書は三階にあつたが、火はその屋根裏からはいつたので、馬琴の日記もまたまた館長室に出してあつた一冊を残すのみで、他はすべて鳥有に帰してしまつた。

私は大学院在籍中に「近世生活と国文学」という研究報告書を書き、それから暫くして新設の京城大学に赴任し、近世文学を講義することになった。だが外地にあって江戸の資

料を集めることは何としても不便である。そこで私は場所がら手にはいり易い中国文学に目をつけた。幸いに李王職の奎章閣文庫にはかなり珍らしい中国の小説があつた。私は比較文学の方法により、中国文学の影響をできるだけ精密に調査し、比較によって彼等の文学の特質を明らかにしようとした。

その影響の最も大きいのは馬琴の作品であるが、それを調べている間に、馬琴の伝記を書いて見ようと思つた。どういふ生活をしていたか、その人柄や思想の傾向はどうであつたか、できるだけ精密な人間像を描いて見ようと思つた。そのためにはその日記・書簡・随筆など、彼自身の告白と自伝的記録を掲げ所にする必要がある。そうなると東大で焼失した十数年間の日記が惜しまれてならなかつた。

当時馬琴の資料を最も多く所蔵していたのは早大の図書館であつた。饗庭鑑村の寄贈した曲亭叢書の中にはかなり珍らしいものが含まれていた。馬琴の伝記を調べるためには、どうしてもそこに頼らなければならぬ。どういふ考え、夏休みに帰京して、馬琴関係の書物を利用してもらいたいと思つた。私は五十嵐教授のお宅を訪ね、その紹介で林葵末夫館長に

お会いし、その御厚意によって早大の図書館に出入することを許された。二夏ほど通っている間に、資料がかなり集まった。また上野の図書館には黄表紙が揃っていたので、一夏池の端の旅館を借りて毎日通って行った。合巻類は京城大学で千五百部くらい一括して購入したので、それを利用することにした。

こうして曲りなりにも「瀧沢馬琴」という一書をまとめあげて、今から二十年ほど前に出版した。とにかく資料を丹念に集めなければ研究にはならない。空想を逞しうするだけでは、学術的な伝記とはいえない。研究にとつて最大の武器は正確な資料である。私の研究などは物の数でもないが、早大所蔵の曲亭叢書や簗村の馬琴日記鈔や和田博士校訂の馬琴日記(天保二年)などがなかったら、こういうささやかな書物でも生れなかったにちがいない。

馬琴の日記もその後発見されたものなどを加えて、近いうちに数巻の書となって出版されると聞いている。私の著書などは結局その一部分を利用したにとどまり、馬琴の全貌を描き出すなどということは到底できなかった。拾い読み程度のまことにうしろめたい研究であった。できたらさらに広い資料を利用して、書

き直してみたいと思っているくらいである。

それにつけても焼失した東大の日記が惜しまれてならない。日記などというものは、一度焼けてしまえば二度と手にすることはできない。せめて小型の写真にでも納めておいてくれたらと思うのだが、その頃はそ

## 紹介

### 国語国文学会連絡協議会

国文学研究資料館の設立のためにさきに推進連絡協議会が組織された。わが国の古典ならびにその研究を収集整理しようという全国的な運動の中心として国語国文学関係の二〇学会が結集して事にあたったが、資料館創設によってひとまずその目的を達し、協議会は解散した。しかし各学会がこのような形で糾合したことは学界としては、いまだかつてなかったことであり、またこの連絡による学会相互の活動、資料館ばかりでなく他機関への交渉の便が考えなおされて、新たに学会の連絡協議会の集まり、「国語国文学会連絡協議会」が組織され、現在活動している。

この協議会成立の経緯は、昨年五

ういう配慮さえなかった。建物ならば再建して昔を偲ぶこともできるであらうが、焼失した十何年かの日記の内容は、どういう手段をもつてもこれを明らかにすることはできない。資料の保存の大切なことが痛感されるのである。一六月二十九日

(評議員・学習院名譽院長)

月十六日に久松潜一氏の催しで準備会の世話人会が開かれた。佐々木八郎 守随憲治、岩淵悦太郎、永積安明、市古貞次、五味智英、高田瑞穂、井本農一、西尾光一、臼田甚五郎、西尾光雄氏などの国文学者、国語学者が出席し、準備会を設けて各学会の加入を依頼することが議せられた。別に規約起草の委員、志田延義、五味智英、井本農一、渡辺修、西尾光一、臼田甚五郎、村松定孝、西尾光雄氏らはその作成に当った。

規約は、九月二十一日の第一回連絡準備会で、左のように決定され、同時に本会が正式に発足することになった。

国語国文学会連絡協議会規約

〔会の名称〕

第一条 本会は国語国文学会連絡協議会と称する。

〔参加学会の資格〕

第二条 本会に参加できる学会は国語学国文学ならびにこれらと密接な関連のある学会であつて相当数の会員を擁し学会誌を有する全国的規模の開放制の学会とし、参加は学会単位とする。

〔会の目的〕

第三条 本会は参加学会相互の連絡協議の機関としての機能を發揮し国語国文学会共通の利益を是より、学問文化の向上発展に寄与することを目的とする。

〔会の活動〕

第四条 本会は第三条の目的を達成するため、連絡協議会員の開催、各学会の研究運営に関する情報資料の収集交換その他必要と認める活動を行なう。

〔事務局〕

第五条 本会の事務局は参加学会の輪番制とし、その当番期間は二年を原則とする。

〔経費〕

第六条 本会の経費は会費その他をもつてあてる。

〔規約変更〕

第七条 本規約を変更するには参加学会の過半数の賛同を必要と

する。

付則 本会の会費は年額一〇〇〇円とする。事務局は当分のあいだ東京女子大学日本文学研究室内に置く。付則の変更は連絡協議会の決定によるものとする。

\* 一六七、東京都杉並区善福寺二一六一 東京女子大学日本文学研究室（電話一〇三—三九五—二二一）

連絡協議会は昨年十一月、本年一月、四月、六月に事務局において開かれ、各学会内、学会間の問題および協議会の対外的問題が検討されている。当館からも市古館長、古川研究情報部長のほか研究情報部教官全員が出席し、各学会との連絡、情報交換に努めている。

国文学研究資料館主催の公開講演会はこの連絡協議会の協賛を得て、昨年十一月九日と本年六月二十一日に朝日講堂で催され盛況であった。この連絡協議会が国文学研究資料館と共に急激に増大する学術情報量の処理、また国文学研究の国際性獲得の上で大きな役割を果たすことが期待される。

〔学会名一覧〕 解釈学会 日本近世文学会 近代語学会 国語学会 古代文学会 上代文学会 説話文学

会 全国大学国語国文学会 中古文学会 中世文学会 日本演劇学会 日本歌謡学会 日本近代文学会 日本文学風土学会 日本文学協会 俳文学会 表現学会 仏教文学研究会

## 文献資料部事業報告

昭和四十七年度

「国文学研究資料館報」第一号に掲載した「文献資料部事業報告」以後、昭和四十七年度において当部で行なった事業の概要は左の通りである。

### 一、地区別文献資料調査員会議の開催

「館報」第一号に予告した北海道・東北地区及び関東甲信越地区の地区別会議を左の通り開催した。

#### 1 北海道・東北地区

十一月二十五日午後二時—五時、東北大学長陵会館において、北海道・東北地区の文献資料所在状況の調査、及びその方法について連絡協議が行なわれた。出席者七名。

#### 2 関東・甲信越地区

十二月二日午後一時三十分—四時、当館館長室において開催。関東・甲信越地区の調査状況について報

告が行なわれ、今後の方針について種々協議した。出席者六名。

大久保 正

二、国文学文献資料収集員の委嘱

当館における文献資料の収集事業に協力を得るため、国文学文献資料調査員のはかに国文学文献資料収集員を委嘱することとし、左記五十一名の承諾を得、二月一日付をもって正式に委嘱した。なお、任期は昭和四十九年三月三十一日までとする。（日野・稲田両氏はその後辞任）

国文学文献資料収集員名簿

（任期 昭和四八、二、三—昭和四九、三、三一）

一 伊藤 敬

藤女子大学教授

二 佐々木 忠 慧

宮城学院女子大学助教授

三 前田 富 祺

東北大学助教授

四 阿蘇 瑞 枝

共立女子大学短期大学部助教授

五 池田 利 夫

鶴見女子大学助教授

六 遠藤 宏

東京女子大学短期大学部助教授

七 加 美 宏

昭和女子大学短期大学部助教授

八 神作 光 一

東洋大学教授

九 久保 木 哲 夫

都留文化大学教授

十 桑 原 博 史

東京教育大学助教授

十一 小町 谷 照 彦

東京学芸大学助教授

十二 杉 谷 寿 郎

日本大学助教授

十三 杉本 圭 三 郎

法政大学教授

十四 白 石 悌 三

立教大学助教授

十五 諏訪 春 雄

学習院女子短期大学教授

十六 高 橋 貢

梅光女学院大学助教授

一七 谷 脇 理 史

跡見学院女子大学助教授

一八 徳 江 元 正

国学院大学助教授

一九 栃 木 孝 惟

千葉大学助教授

- 二〇 外村南都子  
白百合女子大学講師
- 二一 中野 幸一  
早稲田大学助教授
- 二二 野村 純一  
国学院大学助教授
- 二三 前田 愛  
立教大学助教授
- 二四 松野 陽一  
立正女子大学短期大学部助教授
- 二五 三木 紀人  
成蹊大学助教授
- 二六 森川 昭  
成蹊大学助教授
- 二七 山田 昭全  
大正大学教授
- 二八 水島 義治  
日本大学短期大学部教授
- 二九 山下 一海  
成城大学短期大学部助教授
- 三〇 滝沢 貞夫  
信州大学助教授
- 三一 島津 忠夫  
愛知県立大学助教授
- 三二 樋口 芳麻呂  
愛知教育大学教授
- 三三 山下 宏明  
名古屋大学助教授
- 三四 岡本 勝  
愛知教育大学助教授
- 三五 北岡 四良  
北九州大学助教授
- 皇学館短期大学教授
- 三六 伊藤 正義  
関西大学教授
- 三七 榎坂 浩尚  
関西医科大学教授
- 三八 片桐 洋一  
大坂女子大学助教授
- 三九 北川 忠彦  
天理大学教授
- 四〇 岸 得藏  
静岡女子大学教授
- 四一 多治比 郁夫  
大阪府立図書館
- 四二 笹川 祥生  
京都府立大学女子短期大学部講師
- 四三 日野 龍夫  
大阪女子大学講師
- 四四 山内 潤三  
高野山大学教授
- 四五 三輪 正胤  
大阪府立大学講師
- 四六 稲田 利徳  
岡山大学講師
- 四七 佐藤 恒雄  
香川大学講師
- 四八 荒木 尚  
熊本大学助教授
- 四九 金原 理  
熊本大学助教授
- 五〇 河野 頼人  
北九州大学助教授

## 五一 中野 三敏

九州大学助教授

## 三、国文学文献資料調査員会議

(総会)の開催

昭和四十七年度の国文学文献資料調査の報告と検討のため、昭和四十七年度第二回文献資料調査員会議(総会)を、昭和四十八年二月五日(月)、午後一時三十分―四時、東京都千代田区霞が関三ノ二ノ三、国立教育会館において開催した。出席調査員三十二名。その会議次第は左記の如くである。

- 1 開会の辞
  - 2 館長挨拶
  - 3 議事及び報告
    - (1) 事業経過報告
    - (2) 地区別報告
    - (3) 当館からの要望
    - (4) 当館における打合せ(六日)について
    - (5) 質疑応答
    - (6) その他
  - 4 研究情報部長挨拶
  - 5 事務連絡
  - 6 閉会の辞
- なお、翌二月六日(火)、午前十時三十分より、午後四時まで、当館において、個々の調査員との打合せ協議が行なわれた。

## 四、国文学文献資料収集員会議

の開催

国文学文献資料収集員規程の決定と、文献資料収集の方針説明、及び昭和四十七年度の任務依頼のため、昭和四十八年二月八日(木)午後一時三十分―四時三十分、国立教育会館において国文学文献資料収集員会議を開催した。出席収集員四十五名、会議次第を左に記す。

- 1 開会の辞
  - 2 館長挨拶
  - 3 研究情報部長挨拶
  - 4 議事及び報告
    - (1) 当館の文献資料収集の方針についての説明
    - (2) 収集員規程決定
    - (3) 当館における打合せ(九日)について
    - (4) 昭和四十七年度の収集任務依頼について
    - (5) グループ別打合せ。
    - (6) 質疑応答
  - 5 事務連絡
  - 6 閉会の辞
- なお、翌二月九日午後一時三十分より四時まで、当館文献資料部において、個々の収集員の昭和四十七年度依頼任務について具体的な打合せが行なわれた。

## 五、国文学文献資料収集計画委員会の開催

昭和四十七年度の文献資料収集状況の報告と、今後の収集についての協議を行なうため、昭和四十八年三月一日（木）午後一時三十分より三十分まで、如水会館一階会議室において、昭和四十七年度第二回文献資料収集計画委員会を開催した。出席委員十名（全員）。その会議次第は左記の如くである。

## 1 開会の辞

## 2 館長挨拶

## 3 議事及び報告

(1) 昭和四十七年度事業経過報告について

(2) 国文学文献資料収集員委嘱について

(3) 明年以降の事業計画について

(4) その他

## 4 閉会の辞

## 六、昭和四十七年度文献資料調査及び収集の概要

昭和四十七年度において、文献資料調査員に依頼した文献資料調査、及び文献資料収集については、それぞれ調査員全員に「文献資料調査結果報告書」、また収集員全員に「文献資料収集結果報告書」を提出して頂いた。各位の御協力により、蔵書目録、文献資料（複写等）、文献資料目録、及び研究紀要類を多数当館に収集することができた。そのほか、当館の文献資料収集のための基礎資料としての、全国各地における文献資料書目カード約三百五十点を提出いただき、約五千点の文献資料の所在状況、収集の可否等を明らかにすることができた。ここにこれを報告して調査員及び収集員各位の多大の努力に対して深い謝意を表する。

七、昭和四十七年度までに収集し得たマイクロフィルム（ネガ又はポジ）、並びに紙焼写真の概況

開館に備えて目下整理中のため、収集書目の詳細は、今回は省略するが、昭和四十七年度末までに収集を了えた文献資料マイクロフィルム及び紙焼写真の書目点数は、左記の如くである。

## 国立国会図書館

「東海道名所記」ほか六七点（マイクロフィルム）

## 東京大学図書館

「懐風藻」ほか一七五点（マイクロフィルム）

## 東京大学国語研究室

「沙石集」ほか一八八点（マイクロフィルム）

## 東京大学国文研究室

「住吉物語」ほか一〇五五点（マイクロフィルム並びに紙焼）

## 東京教育大学

「宝物集」ほか六四四点（マイクロフィルム）

## 和歌山大学・紀州藩文庫

「古今和歌六帖」ほか一〇六六点（マイクロフィルム）

## 岡山大学・池田家文庫

「筆のすさみ」ほか八六六六点（マイクロフィルム）

## 高松宮家

「大かがみ絵詞」ほか九七八点（マイクロフィルム並びに紙焼）

## 東洋文庫

「東省隨筆」ほか二二八八点（マイクロフィルム並びに紙焼）

## 本居宣長記念館

「出雲風土記」ほか八三三三点（マイクロフィルム並びに紙焼）

## 射和文庫

「正三位物語」ほか四六六六点（マイクロフィルム並びに紙焼）

## 個人蔵書

「秋篠月清集」ほか九九九点（マイクロフィルム並びに紙焼）

## 昭和四十八年度

次に昭和四十八年度に入ってから事業経過、並びに事業予定について、左にその概要を記す。

## 一、国文学文献資料収集計画委員の委嘱

昭和四十八年度収集計画委員は、昭和四十七年度委員十名に全員留任願うことに決定、館長名をもって依頼状を発送し、四月一日付をもって正式に委嘱された。

二、国文学文献資料調査員の委嘱  
昭和四十八年度文献資料調査員は四月一日付をもって、左記四十六名の方々が館長から委嘱され、全国各地の文献資料調査について御協力いただくことに決定した。

## 国文学文献資料調査員名簿

（任期 昭和四八・四九・五〇・五一）  
昭和四九・三・三一

- |   |       |              |
|---|-------|--------------|
| 一 | 北海道   | 野田 寿雄        |
| 二 | 北海道大学 | 教授 青 森 福井 貞助 |
| 三 | 弘前大学  | 教授 岩 手 原田 貞義 |
| 四 | 岸手大学  | 助教 宮 城 片野 達郎 |
| 五 | 東北大学  | 教授 秋 田 橘 健二  |
| 六 | 山形大学  | 教授 山 形 藤田 寛海 |
| 七 | 福島大学  | 教授 福 島 鈴木 久  |
| 八 | 茨城大学  | 教授 白藤 礼幸     |



- 茨城大学助教授  
九 栃木 奥田 勲  
宇都宮大学助教授  
一〇 群馬 有川美亀男  
群馬大学教授  
一一 埼玉 長谷 章久  
埼玉大学教授  
一二 千葉 荻原 浅男  
千葉大学教授  
一三 神奈川 桜井 祐三  
横浜国立大学教授  
一四 新潟 渡辺 鋼也  
新潟大学教授  
一五 富山 手崎 政男  
富山大学教授  
一六 石川 室木弥太郎  
金沢大学教授  
一七 福井 青木 紀元  
福井大学教授  
一八 山梨 清水 茂夫  
山梨大学教授  
一九 長野 東 明雅  
信州大学教授  
二〇 岐阜 鈴木 勝忠  
岐阜大学教授  
二一 静岡 岡部 政裕  
静岡大学教授  
二二 愛知 後藤 重郎  
名古屋大学助教授  
二三 三重 西宮 一民  
皇学館大学教授
- 二四 滋賀 宮田 正信  
滋賀大学教授  
二五 京都 浜田 啓介  
東京大学助教授  
二六 大阪 信多 純一  
大阪大学助教授  
二七 兵庫 金井寅之助  
松陰女子学院大学教授  
二八 奈良 植谷 元  
天理大学助教授  
二九 和歌山 田林 義信  
和歌山大学名誉教授  
三〇 鳥取 山本 嘉将  
凤川学院短期大学教授  
三一 島根 小原 幹雄  
島根県立島根女子短期大学教授  
三二 岡山 赤羽 学  
岡山大学助教授  
三三 広島 稻賀 敬二  
広島大学教授  
三四 山口 田中 常正  
山口大学教授  
三五 徳島 丸山 嘉信  
徳島大学教授  
三六 香川 松原 秀明  
金刀比羅宮図書館司書  
三七 愛媛 土田 衛  
愛媛大学教授  
三八 高知 小関 清明  
高知大学教授  
三九 福岡 今井 源衛  
福岡大学教授
- 九州大学教授  
四〇 佐賀 米倉 利昭  
佐賀大学助教授  
四一 長崎 西島 宏  
長崎大学教授  
四二 熊本 迫 徹郎  
熊本大学教授  
四三 大分 田井庄之助  
大分大学教授  
四四 宮崎 永井 哲雄  
宮崎県総合博物館主事  
四五 鹿児島 大内 初夫  
鹿児島大学教授  
四六 沖縄 仲宗根政善  
琉球大学教授
- 三、国文学文献資料収集計画委員会  
の開催  
昭和四十八年度における文献資料  
収集計画について意見を徴するた  
め、昭和四十八年五月二十三日(水)  
午後一時三十分―四時、国立教育会  
館第一特別会議室において文献資料  
収集計画委員会を開催した。出席委  
員八名、会次第は左の如くである。
- 1 開会の辞  
2 館長挨拶  
3 出席者紹介  
4 委員長選出  
5 議事及び報告  
(1) 昭和四十八年度調査員・収  
集員の委嘱について
- (2) 昭和四十八年度事業計画に  
ついて  
(3) その他  
6 閉会の辞  
右委員会において、互選により昭  
和四十八年度委員長として、西尾光  
雄委員の再選が決定された。なお、  
昭和四十八年度事業計画に関し、ま  
た当館において本年以降使用する調  
査書目カード、及び細目調査カード  
(二種)について種々の意見が交換  
された。
- 四、国文学文献資料調査員会議  
の開催  
昭和四十七年の国文学文献資料調  
査結果の検討と、昭和四十八年度の  
調査についての当館の方針を説明す  
るため、昭和四十八年六月十九日  
(火)午後一時三十分―四時、国立  
教育会館第一会議室において、文献  
資料調査員会議(総会)を開催し  
た。出席調査員四十名。会議次第左  
の如くである。
- 1 開会の辞  
2 館長あいさつ  
3 研究情報部長あいさつ  
4 議事及び報告  
(1) 昭和四十七年度調査収集結  
果報告  
(2) 昭和四十八年度文献資料調  
査員委嘱について

## (3) 昭和四十八年度文献資料調査計画について

## (4) 当館からの要望

## (5) 文献資料調査収集研究会の開催について

## (6) 地区幹事の選出

## (7) 質疑応答

## 5 事務連絡

## 6 閉会の辞

なお右の会議において互選された地区幹事は左の通りである。

野田寿雄 北海道・東北

荻原浅男 関東甲信越

岡部政裕 中部

宮田正信 近畿

稲賀敬二 中国・四国

今井源衛 九州

以上六名

## 五、国文学文献資料収集委員会の開催

昭和四十八年度の当館における収集計画について説明し、協力を得るため、昭和四十八年六月二十日(木)午後一時三十分―四時、国立教育会館中会議室において、文献資料収集委員会(総会)を開催した。出席収集員四十五名。会議次第は左の如くである。

## 1 開会の辞

## 2 館長あいさつ

## 3 研究情報部長あいさつ

## 4 議事及び報告

## (1) 昭和四十七年度収集結果報告

## (2) 昭和四十八年度文献資料収集計画について

## (3) 昭和四十八年度文献資料収集員の任務について

## (4) 質疑応答

## 5 事務連絡

## 6 閉会の辞

なお、当館における収集計画に基づいて協力依頼する具体的な作業内容については、各収集員に別途連絡、協議することとされた。

## 六、文献資料調査収集研究会の開催

文献資料の調査収集の学術的知識や方法について研究し、当館における文献資料の調査収集に資するため、本年から文献資料調査収集研究会を開催することを決定し、左記の如く、第一回研究会を開催した。当館員のほか、調査員・収集員の大多数が出席し、盛会であった。

日時 昭和四十八年六月二十日

(水) 午前九時三十分―十二時

場所 国立教育会館中会議室

講師

早稲田大学教授 伊地知鉄男

関西大学教授 中村 幸彦

## 七、昭和四十八年度事業計画の概要

昨年度にひきつづき、文献資料収集計画委員、文献資料調査員、文献資料収集員各位のご協力によって、左記の如き事業を立案し、逐次実行に移っているところである。

## (1) 原本および複製本・影印本等の収集・購入

稀書複製会叢書等。

## (2) マイクロフィルム及び紙焼写真の撮影・収集

(前年度からの継続) 岡山大学・高野山大学・東京大学蔵本等。(今年度開始予定) 神宮文庫等の

## 研究情報部事業報告

古川 清彦

「国文学研究資料館運営規則」によれば、研究情報部においては、「国文学に関する研究文献及び研究に必要な情報の調査研究及び収集を行ない、並びに国文学に関する文献その他の資料の整理・保存及び閲覧を行なう。(史料館の所掌に属するものを除く。)」ことを任務とする。このような規定による事業は全国の大学の研究者等の協力を求めて、つとめて網羅的、体系的かつ効率的に

蔵本について交渉中。

## (3) 昨年度の作成にかかる文献資料調査カード(書目・細目)の整理。本年度文献資料調査カードの作成及び整理。

(備考) 諸般の状況から、文献資料調査収集における重点地区のモデルケースとして、中京地区をえらび、公開図書館・特殊文庫・社寺、および個人の蔵書について、組織的・総合的調査を進めることとした。この調査事業は、現在のところ、三年計画となる見込みである。

企画するとともに共同利用機関の趣旨に即して情報サービスを行なう必要があるため、開館に備えて、研究情報部は昨年度にひき続き、次のような活動をしている。

○国文学文献目録委員会。館長の諮問に應じて、(一)文献資料の解題・解説に関する事項。(二)文献資料の目録作製に関する事項。(三)その他文献資料の編集に関する基本的な事項等を審議する。

昭和四十七年度は十二月までに六回、四十八年二月二十八日(水)に第七回の委員会を催し、『国文学研究文献目録』(昭和四十六年度)の作成刊行を議した。

昭和四十八年度は四十七年度版目録の作成実務を担当する方針をとり、左の諸氏による委員会が、第一回五月八日(火)、第二回六月五日(火)、第三回七月十六日(月)、第四回八月三十一日(金)に催された。浅井清(お茶の水女子大学)、大矢武師(文部省)、久保田淳(東京大学)、篠原昭二(東京大学)、瀬戸仁(文部省)、曾倉岑(明治学院大学)、山口明穂(白百合女子大学)、浜野卓也(都立桜町高校)。

なお編集室関係の業務には主として本年度新任の岡雅彦助教授・和田英道助手が従事している。

○国文学情報検索委員会。館長の諮問に依りて、(一)国文学研究に必要な情報の処理方式に関する事項。(二)文献資料の電子計算機による索引システムに関する事項。(三)その他国文学の研究に必要な情報の検索に関する基本的な事項を審議する。

昭和四十七年度は委員会のはか、情報検索のテスト等を行ったが、四十八年度は、渡仏中の石綿敏雄氏(国立国語研究所)に林四郎氏(同

研究所)が代り、委員長国井利泰(東京大学)、水谷静夫(東京女子大学)氏らと委員会(幹事、田嶋一夫助手)を構成し、第一回五月九日(水)於当館、第二回六月四日(月)於東京女子大学会議室、第三回六月十八日(月)於東大国井研究室で催された。その際、当館のシステム開発計画について検討を行ない、さらに導入候補機種検討が来年度の概算要求に関連して議題となった。

○整理閲覧準備委員会。整理閲覧室に関する業務を審議して館長の諮問に依りて整理閲覧委員会は未だ発足していないが、その準備段階として館内各部から委員を出して昭和四十八年三月に成立した。第一回三月二十三日(金)、第二回三月二十九日(木)、第三回四月二十五日(水)、第四回五月二十九日(火)、第五回七月二十五日(水)と催された。問題点としては当館の教官の性格、文献資料部、研究情報部、史料館の関連が挙げられ、主な議題としては(一)奉仕対象(利用者層)について。(二)資料の種類。(三)閲覧方式。(四)収集した資料、寄贈・購入図書、整理・保存・閲覧について。(五)購入図書・寄贈図書について(文献資料部・研究情報部関係)。(六)マイクロフィルムその他収集した資料の検収・登録・

管理・移行について。(七)マイクロフィルムへの受入れ事務などについて等であった。

なお、整理閲覧室については主として本田助教授が業務を担当し、本年度から柳生四郎氏(調査員)、山城事務官が整理に当たっている。

○公開講演会(第二回) 四十八年六月二十一日(木)

午後五時半～八時半、朝日講堂において本館主催の「芭蕉と蕪村」(テーマ)講演会を催した。情報室が企画に当たった。

開会の辞

教授 古川 清彦

あいさつ

館長 市古 貞次

芭蕉と「奥の細道」

お茶の水女子大学教授

井本 農一

朔太郎と蕪村

詩評論家 伊藤 信吉

閉会の辞

東京女子大学教授 西尾 光雄

司会 研究情報部

助教授 本田 康雄

助教授 岡 雅彦

協賛 国語国文学会連絡協議会

後援 朝日新聞社

なお当日は満員の盛況で、当館としてはお二人の講師は勿論のこと国

語国文学会連絡協議会と朝日新聞社に対し厚く感謝したい。

○「館報」の編集刊行。第一号(四十七年十二月二十五日発行)にひき続き、今回が第二号で、情報室が編集に当たった。

最後に紀要等の御送付に対するお礼と依頼を申し上げる。かねて蔵書目録・研究紀要等の寄贈方をお願いしたところ、続々と御送付があつて感激している。左に目録を示して感謝の意をさげるとともに学会・図書館・文庫をはじめ各方面の一層の御支援を願う次第である。

なお、研究情報部は各室とも新館四階に四十八年七月二十日(金)に移転した。

(研究情報部長)

※古川研究情報部長は本年九月から十一月まで海外における国文学の研究情報の調査収集のため欧米に出張の予定。

# 受贈雑誌目録（六月十八日現在）

書 名	発 行 所	欠 号
【あ】		
愛泉女子短期大学紀要	愛泉女子短期大学愛泉学会	一〇四
愛知学院大学文学部紀要	愛知学院大学文学部	
愛知教育（学芸）大学研究報告	愛知教育（学芸）大学	
愛知県立芸術大学紀要	愛知県立芸術大学	
愛知県立女子大学	愛知県立女子大学	
愛知県立女子短期大学紀要	愛知県立女子短期大学	
愛知県立大学文学部論集	愛知県立大学文学部	一一一六
〔愛知淑徳短期大学〕研究紀要	愛知淑徳短期大学	
青須我波良	帝塚山短期大学日本文芸研究室	
青山学院大学文学部紀要	青山学院大学文学部	一一二一
青山学院女子短期大学紀要	青山学院女子短期大学	一一二三
青山語文	青山学院大学日本文学会	
〔明石工業高等専門学校〕研究紀要	明石工業高等専門学校	一一二二
秋田工業高等専門学校研究紀要	秋田工業高等専門学校	
秋田語文	秋田語文研究会	
秋田大学教育学部研究紀要	秋田大学教育学部	一一一九、一一二九
旭川工業高等専門学校研究報文	旭川工業高等専門学校	
アジア・フリカ言語文化研究所通信	東京外国語大学アジア・フリカ言語文化研究所	一一一六
亜細亜大学教養部紀要	亜細亜大学	一一二〇
跡見学園国語科紀要	跡見学園国語科研究会	
跡見学園女子大学紀要	跡見学園女子大学	
【い】		
跡見学園短期大学紀要	跡見学園短期大学	一一一八
阿南工業高等専門学校研究紀要	阿南工業高等専門学校	
有明工業高等専門学校紀要	有明工業高等専門学校	
【う】		
〔石川県立輪島高等学校〕紀要	石川県立輪島高等学校	一一一三
石川工業高等専門学校紀要	石川工業高等専門学校	一一一四
一関工業高等専門学校研究紀要	一関工業高等専門学校	
茨城キリスト教大学紀要	茨城キリスト教大学	
茨城工業高等専門学校研究報	茨城工業高等専門学校	
茨城女子短期大学紀要	茨城女子短期大学	
茨城大学人文学部紀要（文学部論集）	茨城大学人文学部	
印度学仏教学研究	日本印度学仏教学会	
【え】		
上野図書館紀要	国立国会図書館支部上野図書館	一
歌と評論	歌と評論社	一一一七
宇都宮短期大学学術報告	香川学園宇都宮短期大学	一一一三
〔宇都宮大学学芸学部〕研究論集第一部	宇都宮大学学芸学部	三、六、一四
宇都宮大学教育学部紀要第一部	宇都宮大学教育学部	一一一五
うみかぜ（逗子市立図書館報）	逗子市立図書館	
【お】		
愛媛国文研究	愛媛国語国文学会	一一一五、七、九、一一一三、一一一六
愛媛国文と教育	愛媛大学教育学部国語国文学会	
愛媛大学紀要第一部（人文科学）	愛媛大学	一一一七、九、一一一三
愛媛大学法文学部論集（経済学）	愛媛大学法文学部	一一一三

愛媛大学法文学論集 文学科  
編  
演劇研究

愛媛大学法文学部  
早稲田大学演劇博物館

一、三

【お】

大分工業高等専門学校学研究  
報告

大分工業高等専門学校

一、六

大分大学教育(学芸)学部  
研究紀要

大分大学教育(学芸)学部

一、三、五

〔大阪外国語大学〕学報

大阪外国語大学

一、六

大阪工業大学紀要人文社会編

大阪工業大学

一、六

大阪城南女子短期大学研究  
紀要

大阪城南女子短期大学

一、六

大阪産業大学論集

大阪産業大学学会

一、二九

〔大阪大学医療技術短期大  
学部〕研究紀要人文学篇

大阪大学医療技術短期大学部

一、二二、二一  
(通)一、七三

大阪大学経済学

大阪大学経済学部

一、四、六、七

大阪府立大学紀要人文・社  
会科学

大阪府立大学

一、四、六、七

大阪府立図書館紀要

大阪府立図書館

一、一、五

大谷学報

大谷女子大学

一、一、五

大谷女子大学紀要

大谷女子大学国文学会

一、一、五

〔大谷大学〕国文学会会報

大谷大学国文学会

一、七、一

お茶の水女子大学人文科学  
紀要

お茶の水女子大学

一、一、二五

〔お茶の水女子大学文教  
学部附属高等学校研究会〕  
紀要

お茶の水女子大学教育学  
部附属高等学校研究会

一、三、七、八、  
一〇、一二、一六

お茶の水図書館だより

お茶の水図書館

一、一、一、二三

王朝文学

東洋大学王朝文学研究会

一、一、一、二三

大妻国文

大妻女子大学国文学会

一、一、一、二三

大妻女子大学文学部紀要

大妻女子大学文学部

一、一、一、二三

桜美林大学・桜美  
林短期大学紀要(学芸)

桜美林大学・桜美林短期大  
学

一、一、一、二三

〔岡山大学法文学部〕学術  
紀要

岡山大学法文学部

一、一、一、二三

〔尾道短期大学〕研究紀要  
帯広大谷短期大学紀要  
小山工業専門学校研究紀要

尾道短期大学  
帯広大谷短期大学  
小山工業専門学校

一、九

【か】

解釈

解釈学会編(教育出版セン  
ター)

月刊

CHAOS(カオス)

香川県立高松高等学校

一、四一

香川県明善短期大学研究紀要

香川県明善短期大学

一、四一

香川国文

香川国語国文学会

一、四一

香川史学

香川歴史学会

一、四一

香川短期大学紀要

香川短期大学

一、四一

香川短期大学研究報告

香川短期大学

一、四一

香川大学教育学部研究報告  
第一部

香川大学教育学部

一、四一

香川中国学会報

香川中国学会

一、四一

鹿児島女子短期大学紀要

鹿児島女子短期大学

一、四一

〔鹿児島短期大学〕研究紀要

鹿児島短期大学

一、四一

〔鹿児島大学教育学部〕研  
究紀要

鹿児島大学教育学部

一、四一

〔鹿児島大学教養部〕文科  
報告

鹿児島大学教養部

一、四一

〔鹿児島大学文理学部〕文  
科報告

鹿児島大学文理学部

一、四一

〔鹿児島大学法文学部紀要〕  
文学科論集

鹿児島大学法文学部

一、四一

〔華頂短期大学〕研究紀要

華頂短期大学

一、四一

〔金沢女子短期大学〕学葉

金沢女子短期大学

一、四一

金沢大学教養部論集人文科  
学篇

金沢大学教養部

一、四一

金沢大学教育学部紀要

金沢大学教育学部

一、四一

金沢文庫研究

金沢文庫研究

一、四一

金沢文庫研究紀要

金沢文庫研究紀要

一、四一

金沢文庫研究紀要

金沢文庫研究紀要

一、四一

金沢文庫研究紀要

金沢文庫研究紀要

一、四一

金沢文庫研究紀要

金沢文庫研究紀要

一、四一

金沢文庫研究紀要

金沢文庫研究紀要

一、四一

〔関西大学〕東西学術研究所紀要	関西大学東西学術研究所	一〇四
漢文学会々報	東京教育大学漢文学会	一〇三〇
〔学習院高等科〕研究紀要	学習院高等科	一〇三、五
学習院女子短期大学紀要	学習院女子短期大学	一〇三、五
〔学習院大学文学部〕研究年報	学習院大学文学部	一〇一三
学習院大学国語国文学会誌	学習院大学国語国文学会	一
学生論文集	山梨英和短期大学国文学会	一
〔き〕		
北九州大学開学二十五周年記念論文集	北九州大学	一〇一八—一〇二〇
〔北九州大学〕文学部紀要	北九州大学文学部	一〇二〇
〔九州学園福岡女子短期大学〕研究紀要	九州学園女子短期大学	一〇二〇
九州産業大学教養部紀要	九州産業大学教養部	一〇二〇
教育学論集	中央大学教育研究会	一〇二〇
京都工芸繊維大学人文工芸学部研究報告	京都工芸繊維大学工芸学部	一〇二〇
京都国立近代美術館年報	京都国立近代美術館	一〇二〇
京都精華学園研究紀要	京都精華女子高等学校	一〇二〇
京都大学人文科学研究所調査報告	京都大学人文科学研究所	一〇二〇
京都府立大学学術報告人文	京都府立大学	一〇二〇
教養実習ノート	宮城学院女子短期大学教養科	一〇二〇
金城学院大学論集	金城学院大学	一〇二〇
〔国文学編〕		
金城国文	金城学院大学国文学会	一〇二〇
近代文学試論	広島大学近代文学研究会	一〇二〇
義仲寺	義仲寺史蹟保存会	一〇二〇
岐阜工業高等専門学校紀要	岐阜工業高等専門学校	一〇二〇
岐阜大学教育学部研究報告	岐阜大学教育学部	一〇二〇
岐阜大学国語国文学	岐阜大学国語国文学会	一〇二〇
〔こ〕		
叢書	熊本大学教養部紀要人文科学編	一〇二〇
久留米工業高等専門学校	久留米工業高等専門学校	一〇二〇
〔短期大学〕研究報告	〔短期大学〕研究報告	一〇二〇
軍記と語り物	軍記と語り物	一〇二〇
群女国文	群女国文	一〇二〇
群馬女子短期大学紀要	群馬女子短期大学	一〇二〇
群馬大学教育学部紀要・人文社会科学編	群馬大学教育学部	一〇二〇
〔け〕		
研究集録	研究集録	一〇二〇
研究と報告	研究と報告	一〇二〇
県大国文	県大国文	一〇二〇
芸文攷	芸文攷	一〇二〇
芸林（日本学協会）	芸林（日本学協会）	一〇二〇
芸林	芸林	一〇二〇
〔国文学〕言語と文芸	〔国文学〕言語と文芸	一〇二〇
言語文化	言語文化	一〇二〇
源氏こぼれ草	源氏こぼれ草	一〇二〇
現代の眼	現代の眼	一〇二〇
〔こ〕		
〔光華女子大学・光華女子短期大学〕研究紀要	〔光華女子大学・光華女子短期大学〕研究紀要	一〇二〇
〔こ〕		
大谷中・高等学校	大谷中・高等学校	一〇二〇
熊本大学教養部	熊本大学教養部	一〇二〇
久留米工業高等専門学校	久留米工業高等専門学校	一〇二〇
〔短期大学〕	〔短期大学〕	一〇二〇
軍記物談話会	軍記物談話会	一〇二〇
群馬女子短期大学国語国文学研究室	群馬女子短期大学国語国文学研究室	一〇二〇
群馬女子短期大学	群馬女子短期大学	一〇二〇
群馬大学教育学部	群馬大学教育学部	一〇二〇
船渡川隆夫	船渡川隆夫	一〇二〇
山梨大学国文学談話会	山梨大学国文学談話会	一〇二〇
愛知県立女子大学・国文学会	愛知県立女子大学・国文学会	一〇二〇
芸文攷の会	芸文攷の会	一〇二〇
芸林会	芸林会	一〇二〇
芸林発行所	芸林発行所	一〇二〇
大修館書店（東教大）国語国文学会編	大修館書店（東教大）国語国文学会編	一〇二〇
一橋大学語学研究室	一橋大学語学研究室	一〇二〇
源氏物語読書会	源氏物語読書会	一〇二〇
東京国立近代美術館	東京国立近代美術館	一〇二〇
光華女子短期大学	光華女子短期大学	一〇二〇

[illegible]

国文学漢文学論叢(東京教育大学文学部紀要)	東京教育大学文学部	一、二、四、七	ことひら	琴平山文化会	二、九、一、一五、一七、一九、二二、二二
国文学研究(梅光女学院大学)	梅光女学院大学国語国文学会	一、四二	駒沢国文	駒沢大学文学部国文学研究室	
国文学研究(早稲田大学)	早稲田大学国文学会		駒沢大学文学部研究紀要	駒沢大学文学部一、一八	
国文学研究論集(教育学部研究報告抜刷)	山梨大学教育学部(学芸学部)国文学研究室	一	〔駒場東邦〕研究紀要	駒場東邦中学校・高等学校	
国文学放	広島大学国文学会	一、二九、四四	コンテンツ・アナウンスメント	文部省図書館	三、四
国文学春秋	学燈社		語学文学(北海道教育大学)	北海道教育大学語学文学会	一
国文学ノート	成城大学短期大学部国文学研究室	一、四	語学文学会紀要	北海道学芸大学語学文学会	
国文学報	尾道短期大学国文学会	四、一一	語文(大阪大学)	大阪大学国文学研究室	
国文学論考	都留文科大学国語国文学会		語文(日本大学)	日本大学国文学会	四
国文学論集	山梨大学国文学研究室	一、九	語文研究	九州大学国文学会	一、二、八、一〇、一八、二一、二四、二六
国文研究	名古屋国文学研究会			埼玉大学教養部	二
国文白百合	白百合女子大学国語国文学会	一、八		佐賀大学教育学部	一、一九
国文目白	日本女子大学国語国文学会	一、六九、七二	〔さ〕	佐賀大学文学部	
国立教育研究所紀要	国立教育研究所	一、三一	埼玉大学紀要	佐賀大学文学部	
国立教育研究所・進路追跡研究資料第一集	国立教育研究所	一、三、五	〔佐賀大学〕人文紀要	佐賀大学文学部	
国立国語研究所資料集	国立国語研究所	一、七	〔佐賀大学〕文学論集	佐賀大学文学部	
国立国語研究所報告	国立国語研究所	一、三九、四一、四三、四五	佐賀龍谷学会紀要	佐賀龍谷短期大学	一、一七
国立国語研究所論集	国立国語研究所	二	〔佐世保〕北高紀要	長崎県立佐世保北高等学校	一、九
心	平凡社	二五、一九号	佐世保工業高等专科学校研究報告	佐世保工業高等专科学校	一、七
心の花	竹柏会	一、八八、四、八	札幌大谷大学紀要	札幌大谷大学	
古典遺産	古典遺産の会	九二(通巻)	〔国語国文〕薩摩路	鹿児島大学法文学部国文研究室	一、八
古典研究	ノートルダム清心女子大学国文学科	一、五、一三	私学研修	私学研修福祉会	一〇、三一
古典と近代文学	有精堂	一、四	史学文学	続群書類従完成会	
古典と現代	古典と現代の会	一、二二	〔滋賀県高等学校国語教育研究会〕会誌	滋賀県高等学校国語教育研究会	四十三年度まで



— 17 —

【す】

相山女子学園大学研究論集  
鈴峯女子短大人文学社会科学  
研究集報

相山女子学園大学短期大学部  
鈴峯女子短期大学  
一〇一四

【せ】

聖カタリナ女子短期大学紀要

聖カタリナ女子短期大学  
一〇四

成蹊国文

成蹊大学文学部日本文学  
科研究室

成蹊大学文学部紀要

成蹊大学文学部  
一〇六

成蹊論叢

成蹊大学

聖心女子大学論叢

聖心女子大学  
一〇三七

成城文芸

成城大学文芸学部研究室

清泉

獅子門清泉出版部  
号、一四一〇号

〔西南女学院短期大学〕研  
究紀要

西南女学院短期大学  
一〇一七

西南学院大学文理論集

西南学院大学文学部  
一〇一

〔星美学園短期大学〕研究  
論叢

星美学園短期大学  
一〇三

勢陽論叢

皇学館大学館友会本部  
勢陽学会

清流

大谷中・高等学校  
一〇一九

聖和

聖和学園短期大学  
一〇三、五

説林

愛知県立女子大学国文学会

説話

説話研究会

説話文学研究

説話文学会

説話・物語論集

金沢古典文学

禅研究所紀要

愛知学院禅研究所

川柳しなの  
しなの川柳社

一〇一三、一五二、二四、二六、二八、三〇  
一〇五三、一五五、一五七、一五九、一六一、一六三、  
一三八、一四〇、一四二、一四四、一四六、一四八、  
一六八、一七〇、一七二、一七四、一七六、一七八、  
一八〇、一八二、一八四、一八六、一八八、一九〇、  
一九二、一九四、一九六、一九八、二〇〇、二〇二、  
二〇四、二〇六、二〇八、二一〇、二一二、二一四、  
二一六、二一八、二二〇、二二二、二二四、二二六、  
二二八、二三〇、二三二、二三四、二三六、二三八、  
二四〇、二四二、二四四、二四六、二四八、二五〇、  
二五二、二五四、二五六、二五八、二六〇、二六二、  
二六四、二六六、二六八、二七〇、二七二、二七四、  
二七六、二七八、二八〇、二八二、二八四、二八六、  
二八八、二九〇、二九二、二九四、二九六、二九八、  
三〇〇、三〇二、三〇四、三〇六、三〇八、三一〇、三一二、  
三一四、三一六、三一八、三二〇、三二二、三二四、  
三二六、三二八、三三〇、三三二、三三四、三三六、  
三三八、三四〇、三四二、三四四、三四六、三四八、  
三五〇、三五二、三五四、三五六、三五八、三六〇、  
三六二、三六四、三六六、三六八、三七〇、三七二、  
三七四、三七六、三七八、三八〇、三八二、三八四、  
三八六、三八八、三九〇、三九二、三九四、三九六、  
三九八、四〇〇、四〇二、四〇四、四〇六、四〇八、四一〇、  
四一二、四一四、四一六、四一八、四二〇、四二二、四二四、  
四二六、四二八、四三〇、四三二、四三四、四三六、四三八、  
四四〇、四四二、四四四、四四六、四四八、四五〇、  
四五二、四五四、四五六、五五八、五六〇、五六二、  
五六四、五六六、五六八、五七〇、五七二、五七四、  
五七六、五七八、五八〇、五八二、五八四、五八六、  
五八八、五九〇、五九二、五九四、五九六、五九八、  
六〇〇、六〇二、六〇四、六〇六、六〇八、六一〇、六一二、  
六一四、六一六、六一八、六二〇、六二二、六二四、六二六、  
六二八、六三〇、六三二、六三四、六三六、六三八、六四〇、  
六四二、六四四、六四六、六四八、六五〇、六五二、六五四、  
六五六、六五八、六六〇、六六二、六六四、六六六、六六八、  
六七〇、六七二、六七四、六七六、六七八、六八〇、六八二、  
六八四、六八六、六八八、六九〇、六九二、六九四、六九六、  
六九八、七〇〇、七〇二、七〇四、七〇六、七〇八、七一〇、  
七一二、七一四、七一六、七一八、七二〇、七二二、七二四、  
七二六、七二八、七三〇、七三二、七三四、七三六、七三八、  
七四〇、七四二、七四四、七四六、七四八、七五〇、七五二、  
七五四、七五六、七五八、七六〇、七六二、七六四、七六六、  
七六八、七七〇、七七二、七七四、七七六、七七八、七八〇、  
七八二、七八四、七八六、七八八、七九〇、七九二、七九四、  
七九六、七九八、八〇〇、八〇二、八〇四、八〇六、八〇八、  
八一〇、八一二、八一四、八一六、八一八、八二〇、八二二、  
八二四、八二六、八二八、八三〇、八三二、八三四、八三六、  
八三八、八四〇、八四二、八四四、八四六、八四八、八五〇、  
八五二、八五四、八五六、八五八、八六〇、八六二、八六四、  
八六六、八六八、八七〇、八七二、八七四、八七六、八七八、  
八八〇、八八二、八八四、八八六、八八八、八九〇、八九二、  
八九四、八九六、八九八、九〇〇、九〇二、九〇四、九〇六、  
九〇八、九一〇、九一二、九一四、九一六、九一八、九二〇、  
九二二、九二四、九二六、九二八、九三〇、九三二、九三四、  
九三六、九三八、九四〇、九四二、九四四、九四六、九四八、  
九五〇、九五二、九五四、九五六、九五八、九六〇、九六二、  
九六四、九六六、九六八、九七〇、九七二、九七四、九七六、  
九七八、九八〇、九八二、九八四、九八六、九八八、九九〇、  
九九二、九九四、九九六、九九八、一〇〇〇

【そ】

相愛学園図書館報  
相愛女子大学・女子短期大  
学研究論集

相愛学園図書館  
相愛女子大学・女子短期大  
学  
一〇一三

〔創価大学〕文学部論集

創価大学文学部  
vol. 1

総合資料館だより

京都府立総合資料館  
京都府立総合資料館友の会

園田学園女子大学論文集

園田学園女子大学・女子短  
期大学

【た】

大正大学研究紀要

大正大学出版部  
一〇五六

太平記研究

古典遺産の会太平記研究会

平工業高等専門学校紀要

平工業高等専門学校

田唄研究

田唄  
九、一〇、一二、  
一三、一四、一五、  
一六、一七、一八、  
一九、二〇、二一、  
二二、二三、二四、  
二五、二六、二七、  
二八、二九、三〇、  
三一、三二、三三、  
三四、三五、三六、  
三七、三八、三九、  
四〇、四一、四二、  
四三、四四、四五、  
四六、四七、四八、  
四九、五〇、五一、  
五二、五三、五四、  
五五、五六、五七、  
五八、五九、六〇、  
六一、六二、六三、  
六四、六五、六六、  
六七、六八、六九、  
七〇、七一、七二、  
七三、七四、七五、  
七六、七七、七八、  
七九、八〇、八一、  
八二、八三、八四、  
八五、八六、八七、  
八八、八九、九〇、  
九一、九二、九三、  
九四、九五、九六、  
九七、九八、九九、  
一〇〇

拓殖大学論集

拓殖大学研究所  
一〇六八

拓殖大学論集（北海道拓殖  
短期大学）

拓殖大学研究所  
一〇二

立川短大紀要

東京都立立川短期大学  
一〇四、八

立川短大論集

東京都立立川短期大学  
一〇四、八

橘女子大学研究年報

橘女子大学  
一〇四、八

橘女子大学文化学会研究年報

橘女子大学文化学会  
一〇二、四〇六

玉藻

フェリス学院大学国文学  
会  
一〇二、四〇六

たまゆら

比治山女子短期大学国文学会  
一〇一、一九

短期大学教育

日本私立短期大学協会  
一〇一、一九

淡交

淡交社  
一〇四、五

短大論叢

関東学院女子短期大学  
一〇四、五

【ち】

中京大学文学部紀要

中京大学文学部  
一〇八、一〇、  
一一、一六、  
一二、一七、  
一三、一八、  
一九、二〇、  
二一、二二、  
二三、二四、  
二五、二六、  
二七、二八、  
二九、三〇、  
三一、三二、  
三三、三四、  
三五、三六、  
三七、三八、  
三九、四〇、  
四一、四二、  
四三、四四、  
四五、四六、  
四七、四八、  
四九、五〇、  
五一、五二、  
五三、五四、  
五五、五六、  
五七、五八、  
五九、六〇、  
六一、六二、  
六三、六四、  
六五、六六、  
六七、六八、  
六九、七〇、  
七一、七二、  
七三、七四、  
七五、七六、  
七七、七八、  
七九、八〇、  
八一、八二、  
八三、八四、  
八五、八六、  
八七、八八、  
八九、九〇、  
九一、九二、  
九三、九四、  
九五、九六、  
九七、九八、  
九九、一〇〇

中国古典研究

早稲田大学中国古典研究会  
一〇八、一〇、  
一一、一六、  
一二、一七、  
一三、一八、  
一九、二〇、  
二一、二二、  
二三、二四、  
二五、二六、  
二七、二八、  
二九、三〇、  
三一、三二、  
三三、三四、  
三五、三六、  
三七、三八、  
三九、四〇、  
四一、四二、  
四三、四四、  
四五、四六、  
四七、四八、  
四九、五〇、  
五一、五二、  
五三、五四、  
五五、五六、  
五七、五八、  
五九、六〇、  
六一、六二、  
六三、六四、  
六五、六六、  
六七、六八、  
六九、七〇、  
七一、七二、  
七三、七四、  
七五、七六、  
七七、七八、  
七九、八〇、  
八一、八二、  
八三、八四、  
八五、八六、  
八七、八八、  
八九、九〇、  
九一、九二、  
九三、九四、  
九五、九六、  
九七、九八、  
九九、一〇〇

中世文芸

広島中世文芸研究会  
一〇八、一〇、  
一一、一六、  
一二、一七、  
一三、一八、  
一九、二〇、  
二一、二二、  
二三、二四、  
二五、二六、  
二七、二八、  
二九、三〇、  
三一、三二、  
三三、三四、  
三五、三六、  
三七、三八、  
三九、四〇、  
四一、四二、  
四三、四四、  
四五、四六、  
四七、四八、  
四九、五〇、  
五一、五二、  
五三、五四、  
五五、五六、  
五七、五八、  
五九、六〇、  
六一、六二、  
六三、六四、  
六五、六六、  
六七、六八、  
六九、七〇、  
七一、七二、  
七三、七四、  
七五、七六、  
七七、七八、  
七九、八〇、  
八一、八二、  
八三、八四、  
八五、八六、  
八七、八八、  
八九、九〇、  
九一、九二、  
九三、九四、  
九五、九六、  
九七、九八、  
九九、一〇〇

調布学園女子短期大学紀要

調布学園女子短期大学諸  
学研究會

一〇四

## 〔2〕

土（金光図書館報）

金光図書館

鶴見女子大学紀要

鶴見女子大学

## 〔3〕

帝京大学文学部紀要

帝京大学文学部国文学科

一〇三

帝塚山学院短期大学研究年報

帝塚山学院短期大学

一一四、一九

帝塚山学院大学研究論集

帝塚山学院大学

帝塚山学院大学日本文学研究

帝塚山学院大学日本文学会

天理大学学報

天理大学學術研究会

## 〔4〕

東海学園国語国文

東海学園女子短期大学国語  
国文学会

東京家政学院大学紀要

東京家政学院大学

一一三

〔東京学芸大学〕国語国文学

東京学芸大学国語国文学会

〔東京経済大学〕人文自然  
科学論集

東京経済大学

一二〇、三〇

東京工業大学工業材料研究  
所要覽東京工業大学工業材料研究  
所

東京国立近代美術館年報

東京国立近代美術館

東京国立博物館紀要

東京国立博物館

東京女子大学日本文学

東京女子大学学会日本文学  
部会

一一三七

東京女子大学附属比較文化  
研究所紀要東京女子大学附属比較文化  
研究所

一一三二

東京女子大学論集

東京女子大学学会

東京水産大学研究報告

東京水産大学

東京成徳短期大学紀要

東京成徳短期大学紀要編集  
委員会

一一四

東京大学史料編纂所報

東京大学史料編纂所

〔東京都立航空工業短期大  
学〕研究紀要

東京都立航空工業短期大学

一一〇

〔東書高校通信〕国語

東京書籍株式会社

一一二

東大附属論集

東京大学教育学部附属学校

東方学

東方学会

一一四四

東北学院大学論集一般教育

東北学院大学文経法学会

一一五四

〔東北女子大学・東北女子  
短期大学〕紀要

柴田学園

一一一〇

東北大学教養部紀要

東北大学教養部

一二三、五〇八

東北大学日本文化研究所研  
究報告

東北大学日本文化研究所

一一四

東北大学文学部東北文化研  
究室紀要東北大学文学部東北文化研  
究室

一一三

東洋

東洋大学通信教育部

一

東洋音楽研究

東洋音楽学会

一一八、一〇〇

東洋研究

大東文化大学東洋研究所

一二三、二一〇、二  
二六、二二七

東洋大学紀要

東洋大学學術研究会

一一四、九一

東洋文学研究

早稲田大学東洋文学会

一一四、一〇

東横学園女子短期大学紀要

東横学園女子短期大学

一一四、一〇

東横国文学

東横学園女子短期大学

一一〇、二四六、  
二四四

德島大学学芸紀要

德島大学学芸学部

一一〇、二四六、  
二四四德島大学教養部紀要人文・  
社会科学

德島大学教養部

一一〇、二四六、  
二四四図書館時報（岩手大学附属  
図書館）

岩手大学附属図書館

一一〇、二四六、  
二四四図書館なごや（名古屋市立  
図書館報）

名古屋市鶴舞中央図書館

一一〇、二四六、  
二四四

都大論究

東京都立大学国語国文学会

一一〇、二四六、  
二四四

鳥取郷土文化

鳥取郷土文化研究会

一一〇、二四六、  
二四四〔栃木県立足利高等学校〕  
研究集録

栃木県立足利高等学校

一一〇、二四六、  
二四四

苦小牧工業高等専門学校紀要

苦小牧工業高等専門学校

一一〇、二四六、  
二四四

苦小牧駒沢短期大学研究紀要

苦小牧駒沢短期大学

一一〇、二四六、  
二四四

富山史壇

越中史壇会

一一〇、二四六、  
二四四

富山大学教育学部紀要	富山大学教育学部	一〇一九	奈良大学紀要	奈良大学	一〇二八
豊田工業高等専門学校研究紀要	豊田工業高等専門学校		南都仏教	南都仏教研究会	一〇二八
同志社国文学	同志社大学国文学会		新潟大学教育学部紀要	新潟大学教育学部	
同志社女子大学」学術研究年報	同志社女子大学	一〇二一—一〇三二	人文・社会科学編		
同志社大学人文科学研究所紀要	同志社大学人文科学研究所	二〇	〔新潟大学教育学部高田分校〕研究紀要	新潟大学教育学部高田分校	一〇一五
桐朋学園研究紀要	桐朋学園・桐朋教育研究所	一〇九	新居浜工業高等専門学校紀要	新居浜工業高等専門学校	
同朋国文	同朋大学国文学会	一〇五	二松学舎大学東洋学研究所集刊	二松学舎東洋学研究所	一、二
同朋大学論叢	同朋大学同朋学会	一〇二六	二松学舎大学論集	二松学舎大学	
独協大学教養諸学研究	独協大学学術研究会		日大三高研究年報	日本大学第三高等学校職員研究部	四十七年度まで
独協大学経済学研究	独協大学学術研究会	一〇八	日本演劇学会々報	日本演劇学会	一〇一五
〔注〕			日本演劇学会紀要	日本演劇学会	
長岡女子短期大学研究紀要	長岡女子短期大学	二、八、一四、一九—二一	日本歌謡研究	日本歌謡学会	一〇一〇
〔長野県短期大学〕紀要	長野県短期大学		日本学士院紀要	日本学士院	
長野工業高等専門学校紀要	長野工業高等専門学校		日本古書通信	日本古書通信社	一〇三七の一—七号
名古屋市図書館年報	名古屋市鶴舞中央図書館		日本古典文学会々報	日本古典文学会	
名古屋商科大学論集	名古屋商科大学		日本語教育	日本語教育学会	一三
名古屋市立女子短期大学研究紀要	名古屋市立女子短期大学	五、六、一一	日本女子大学紀要文学部	日本女子大学文学部	
〔名古屋自由学院短期大学〕研究紀要	名古屋自由学院短期大学	一〇三	〔日本大学人文科学研究所〕研究紀要	日本大学人文科学研究所	一〇一四
名古屋女子大学紀要	名古屋女子大学	一一一七	日本大学人文科学研究所創立七十周年記念論文集	日本大学人文科学研究所	
名古屋大学教養部紀要	名古屋大学教養部		〔日本大学文学部〕	日本大学文学部	
名古屋大学国語国文学	名古屋大学国語国文学会		〔三島〕研究年報	〔三島〕研究年報	
名古屋大学国文学研究室論集	名古屋大学文学部国文学研究室		日本文学	日本大学文理学部	一〇一九
名古屋大学文学部研究論集	名古屋大学文学部	一〇五七(通号)	日本文学研究	未来社(日本文学協会編)	一〇一四—一一
波	新潮社	一〇六一—一〇六八	日本文学ノート	高知日本文学研究會	一〇一七
奈良教育(学芸)大学紀要	奈良教育大学	二〇七—二〇七三	日本文学風土学会会報	宮城学院女子大学日本文学会	一〇二三
		一〇一	日本文学風土学会紀事	日本文学風土学会事務局	一〇二三
				日本文学風土学会	一〇三

日本文芸論集(山梨英和) 日本歴史	山梨英和短期大学国文学会 吉川弘文館(日本歴史学会編)	一〇二九二
沼津工業高等専門学校研究報告	沼津工業高等専門学校	
能 研究と評論	月曜会	
能楽思潮		一〇六〇
ノートルダム清心女子大学 国文学科紀要	ノートルダム清心女子大学	一〇四
俳句研究	俳句研究社	一〇二一〇三九一 一一号
俳文芸	お茶の水女子大学国文学研究 室内俳文芸研究会	
萩市郷土博物館研究報告	萩市郷土博物館	一〇二、四、七 一〇一〇、一五、 一八、二〇
萩原朔太郎研究会会報	萩原朔太郎研究会事務局	
函大商学論究	函館大学商学部	一一五
〔函館人文学会〕人文論究	函館人文学会	一一二
函館大学論究	函館大学	一一六
羽衣学園短期大学紀要	羽衣学園短期大学	
殖生野国文	四天王寺女子大学国文学会	
〔浜松市立高等学校〕研究 紀要	浜松市立高等学校教職員有志 会	
比較文化	東京女子大学比較文化研究 所	一一一八
比治山女子短期大学紀要	比治山女子短期大学	三
〔一橋大学研究年報〕人文 科学研究	一橋大学一橋学会	一一二二
一橋論叢	日本評論社(一橋学会編)	一一二
表現学会第九回全国大会研 究発表要旨	表現学会事務局	
表現研究	広島市立浅野図書館だより	
広島市立浅野図書館だより	広島市立浅野図書館	一一一五
広島商大論集法文編	広島商科大学商経学会	
広島女学院大学論集	広島女学院大学	一一二二
広島女学院大学紀要	広島女学院大学	一一七
弘前大学文学部紀要	弘前大学文学部	
弘前大学教育学部紀要	弘前大学教育学部	三〇七
〔弘前大学〕国語国文学	弘前大学国語国文学会	二
フェリス女学院大学紀要 (百年記念) フェリス女学 院論文集	フェリス女学院大学 フェリス女学院	
フェリス論叢	フェリス女学院短期大学学 術研究会	三、四、六、八
福井大学教育(学芸)学部 紀要	福井大学教育(学芸)学部	一一一九
福岡教育大学紀要	福岡教育大学	一一八
福岡女学院短期大学紀要	福岡女学院短期大学	一一三
福岡女子短大紀要	福岡女子短期大学	一一二
福岡地方史談話会会報	福岡県文化センター	七、一〇四、六、 七
福岡県文化センター月報	福岡工業高等専門学校	
福島工業高等専門学校紀要	藤女子大学・藤女子短期 大学	
〔藤女子大学・藤女子短期 大学〕紀要	藤女子大学短期大学国語国 文学会	
藤女子大学国文学雑誌	富士宮市立図書館	
富士宮市立図書館新受入図 書目録	富士短期大学学術研究会	五、一三一
富士論叢	仏教大学学会	一一五五
仏教大学研究紀要	同志社大学文化学会	一一二一
文化学年報	九州大学文学部	一一六三
文学研究		



むらさき

## 【め】

紫式部学会編(武蔵野書院) 一、二、四

明治学院論叢

明治学院大学文経学会 一〇一九二

明治大学教養論集

明治大学教養論集刊行会 一〇二八

明大日本文学

明治大学日本文学土曜会

明治大学和泉校舎研究室紀要

一〇三、一〇、一一、一四

## 【も】

桃山学院大学紀要

桃山学院大学

〔桃山学院大学〕人文科学  
研究

桃山学院大学人文科学研究会

桃山学院大学経済学論集

桃山学院大学経済学会

文部省所轄ならびに国立大学附置研究所長会議(議事録)

## 【や】

野州国文学

国学院大学栃木短期大学国  
文学会

〔安田学園〕研究紀要

安田学園

山形県立米沢女子短期大学  
紀要

山形県立米沢女子短期大学

〔山形大学教育学部附属中  
学校〕研究紀要山形大学教育学部附属中学  
校

山口女子短期大学研究報告

山口女子短期大学

山口大学教養部紀要

山口大学教養部

日本文化(やまと文化)

天理大学出版部

山梨英和短期大学紀要

山梨英和短期大学

〔山梨県立女子短期大学〕  
紀要

山梨県立女子短期大学

山梨大学教育学部紀要

山梨大学教育学部

山梨大学教育学部研究報告

山梨大学教育学部

## 【ゆ】

U  
P

東京大学出版会

## 【よ】

横浜国立大学人文紀要  
第二類語学・文学

横浜国立大学教育学部

## 【り】

立教大学日本文学

立教大学日本文学会

立正女子大学短期大学部研  
究紀要

立正女子大学短期大学部

立正大学国語国文

立正大学国語国文学会

立正大学文学部論叢

立正大学文学部

季刊リポート等間

笠間書院

琉球大学経済研究

琉球大学法文学部

琉球大学文学語学論集

琉球大学法文学部

琉球大学法文学部紀要社会  
篇

琉球大学法文学部

琉球大学文学

琉球大学法文学部

## 【れ】

麗沢大学紀要

麗沢大学

## 【わ】

〔若杉研究所〕紀要

都立杉並高校若杉研究所

和歌文学研究

和歌文学会

早稲田大学坪内博士記念  
演劇博物館早稲田大学坪内博士記念  
演劇博物館

早稲田実業学校研究紀要

早稲田実業学校

〔早稲田大学教育学部〕学  
術研究

早稲田大学教育学部

早稲田大学 文学研究科紀要  
大学院早稲田大学大学院文学研究  
科編(理想社刊)

早稲田大学図書館紀要

早稲田大学図書館

和洋国文研究

早稲田大学国文学会

# 受贈図書

(図書館・文庫目録、その他)

和装本目録、郷土資料目録、同索引  
(豊橋市立図書館)  
豊橋市民文化会館所蔵漢籍目録(豊橋市教育委員会)  
図書目録(愛知県立大学、同女子短期大学)  
唐山文庫目録(千葉県立佐倉高等学校)  
学術文献速報(立正大学図書館)  
名古屋大学蔵書目録(名古屋大学附属図書館)  
道空語全旧蔵書目録(東海学園女子短期大学図書館)  
同右補遺  
郷土資料総合目録(宮崎県立図書館)  
行政資料所在調査目録(同右)  
愛知大学漢籍分類目録(同大学図書館)  
北岡文庫蔵書解説目録(熊本大学法文学部国文研究室)  
琴平宮図書館追加目録  
丹羽記念文庫目録(関西学院大学図書館)  
関西学院大学図書館雑誌目録(関西学院大学図書館)  
図書目録(龍野文庫)  
蔵書目録(岡山県総合文化センター)  
食泉文庫図書目録(倉敷市立倉敷図書館)  
玄石文庫図書目録(倉敷市教育委員会)  
彰邦文庫図書目録(倉敷市立倉敷図書館)

郷土資料解題目録(岡山市立図書館)  
類題和歌集私記(熊谷武至 東海学園国語国文叢書)

郷土資料目録(高松市立図書館)  
金光図書館増加図書一覧表  
大東急記念文庫十五年史  
日光山「天海蔵」主要古書解題  
本居家寄贈品目録  
香川県郷土資料総合目録  
神原文庫分類目録  
香川大学雑誌目録  
旧致道館蔵書  
鶴岡市立図書館蔵書目録  
サントリー美術館図録  
広瀬エイト文庫図書目録  
辻村文庫図書目録  
資料目録(鎌田共済会郷土博物館)  
九州帝国大学図書目録  
CATALOGUE OF THE Kyushu Imperial University Library (九州帝国大学)  
同右 SUPPLEMENT (〃)  
LIST OF SCIENTIFIC REPORTS AND PERIODICALS (九州帝国大学)  
九州大学学術雑誌目録(人文科学文庫編)  
(和文編)  
郷土資料目録(山口県立萩図書館)  
山本文庫目録(〃)  
渡辺文庫目録(萩市郷土博物館)  
郷土資料目録(鳥取県立鳥取図書館)  
通信教育文庫目録(山口県立山口図書館)

郷土資料目録(〃)  
新着図書目録(〃)  
新収図書目録(〃)

富山県立図書館新着図書目録  
富山県立図書館増加図書目録  
(ルン文庫目録(富山大学))  
富山大学(ルン文庫所蔵(ルン関係文獻解説付目録  
肥前島原松平文庫目録  
九州大学蔵歌書目録  
九州大学図書館蔵細川文庫目録  
九州大学蔵国語学関係書目録  
岡山大学所蔵池田家文庫総目録  
後撰和歌集研究史(東海学園女子短期大学)  
図書総目録(武蔵野書院)  
源氏物語絵巻詞書総索引(田島鏡堂編)  
ことわざ  
金刀比羅宮  
琴平町史  
当館所蔵古辞書展示会出陳目録  
徳川竹姫の婚礼と嫁入本、徳川竹姫の婚礼調度、献上目録(北条秀雄)  
太宰府天満宮蔵書目録  
東京家政大学図書館大江山文庫本目録  
志田文庫目録(富山県立図書館)  
富山県郷土資料総合目録(富山県立図書館)  
富山大学増加図書目録  
和漢書目録(城端町立図書館)  
井上文庫資料目録(丸亀市立図書館)

八幡浜の文化財(八幡浜市教育委員会)

和漢洋図書分類目録(町立福光図書館)  
得能文庫目録(町立福光図書館)  
松居敬夫文庫蔵書目録(〃)  
中沢家文書目録(福光町史編集委員会)  
高田家文書目録(〃)  
丸亀市郷土資料目録(丸亀市立図書館)  
金倉寺蔵文書目録  
郷土資料室列品目録(香川県文化会館)  
讃岐津田・長町家の古文書の解説(中院少将源雅平顕彰会)  
鹿持雅澄遺稿(高知大文学部)  
真田幸一氏所蔵本目録  
伊予俳諧文庫目録(愛媛県立図書館)  
松平家計量台帳  
私家集目録  
春嶽公記念文庫解説目録(文書編)  
高島文庫目録(福井大学附属図書館)  
道元文庫目録(福井大学)  
小林好日旧蔵書目録(〃)  
間部文書目録別冊・進徳養蔵書目録  
松平文庫目録(福井県立図書館)  
往来本総目録(三次図書館)  
大樺文庫目録(鹿沼市立図書館所蔵)  
千葉大学蔵書目録(和漢書)  
千葉大学雑誌総合目録(千葉大学附属図書館)  
参考図書目録(〃)  
継続受入雑誌所在目録(〃)



- 指定図書目録（〃）  
 総本山善通寺文書目録  
 郷土資料目録（香川県立図書館）  
 若尾資料目録（山梨県立図書館）  
 甲州文庫目録（山梨県立図書館）  
 紅日書楼文庫目録（浜松市立図書館）  
 川上文庫目録（〃）  
 老松園文庫目録（〃）  
 高林家文庫目録（〃）  
 江戸幕府旧蔵図書目録（葵文庫目録）  
 （静岡県立中央図書館）  
 現代詩ライブラリー目録（〃）  
 久能文庫目録（〃）  
 榛原郡五和村文書目録（〃）  
 学制百年記念展目録（静岡県教育委員会）  
 明治百年記念郷土資料展（〃）  
 郷土資料解題目録（岡山市立図書館）  
 城図仮目録稿（東北大学附属図書館）  
 弥谷寺文献目録  
 足利学校遺蹟図書館古書分類目録  
 和本目録（岐阜市立図書館）  
 藤廬文庫分類目録（上田市立図書館）  
 関口文庫目録（県立長野図書館）  
 鹿山文庫目録  
 鹿山文庫と佐倉藩学の推移  
 花月文庫分類目録（上田市立図書館）  
 成田図書館和漢書分類目録（成田図書館）  
 増加図書目録（所沢市立所沢図書館）  
 受入図書目録（茅ヶ崎市立図書館）
- 川越市立図書館特殊文庫目録  
 川越市立図書館貴重図書目録  
 川越市立図書館郷土資料目録  
 郷土資料目録（鴻巣市立図書館）  
 郷土資料記事索引（白河市立図書館）  
 蔵書目録（〃）  
 郷土資料目録（土浦市立図書館）  
 増加図書目録（朝霞市立図書館）  
 新着図書目録（〃）  
 郷土資料目録（行田市立行田図書館）  
 録音教材・紙しばい・落語シリーズ  
 目録（〃）  
 郷土資料目録（新庄図書館）  
 蔵書目録（練馬区立練馬図書館）  
 蔵書目録（工藤文庫篇）（青森県立図書館）  
 弘前図書館蔵書目録（弘前市立弘前図書館）  
 岩見文庫郷土資料・目録その3（弘前図書館郷土資料目録 第四巻）  
 高野山文庫目録（高野山大学国文学会・高野山大学附属図書館）  
 郷土関係資料目録（羽後町立図書館）  
 信淵文庫目録（西馬音内報効会）  
 郷土資料目録（大分県立大分図書館）  
 蔵書目録（秦野市立図書館）  
 横浜国立大学教育学部雑誌目録（横浜国立大学附属図書館教育学部分館）  
 隅外資料展展示目録（東京大学総合図書館）  
 岩手県立図書館増加図書目録（岩手県立図書館）
- 図書館目録（大倉精神文化研究所）  
 蔵書目録（東京都中野区立中野図書館）  
 増加図書目録（岡山県総合文化センター）  
 郷土関係新聞記事索引（長崎県立長崎図書館）  
 原水爆関係新聞記事索引（〃）  
 郷土資料目録（〃）  
 金沢文庫蔵書目録（第一・第二）  
 陽明文庫蔵書解題  
 相州陶綾郡旧村方資料（大磯町教育委員会）  
 交成図書館蔵書目録  
 蔵書目録（上山市立図書館）  
 蔵書目録・郷土資料篇（茨城県立図書館）  
 上杉文書目録（市立米沢図書館架蔵）  
 市立米沢図書館善本解題  
 素行文庫目録（平戸素行会）  
 増加図書目録（能代市立図書館）  
 岩田文庫目録（平塚市図書館）  
 郷土資料分類目録（市立函館図書館）  
 中川家委託の古文書等目録（竹田市立図書館）  
 竹田岡藩・由学館の図書所蔵目録（大分県竹田市立図書館）  
 郷土資料目録（竹田市立図書館）  
 団体貸出図書目録（台東図書館）  
 団体貸出新着図書目録（台東図書館）  
 郷土資料目録（〃）  
 蔵書目録（〃）  
 蔵書目録2・3（〃）  
 佐原市立図書館目録
- 鴨川図書館目録  
 参考図書目録（東京都豊島区立豊島図書館）  
 行政資料目録（〃）  
 全集双書目録（〃）  
 新聞・雑誌目録（〃）  
 千早図書館  
 真崎文庫目録（大館市立栗盛記念図書館）  
 郷土資料目録（旭川市立図書館）  
 森岡外資料目録（隅外記念本郷図書館）  
 隅外記念堂蔵書目録（〃）  
 田村家文書目録（関市教育委員会）  
 官省指令留・官省願同届（解題書目第二集、青森県立図書館）  
 津軽史（解題書目第一集、青森県立図書館）  
 新収図書目録（青森県立図書館）  
 蔵書目録 総記篇（〃）  
 蔵書目録 哲学篇（〃）  
 蔵書目録 工藤文庫篇（〃）  
 蔵書目録 米内山文庫篇（〃）  
 蔵書目録 能田文庫篇（〃）  
 蔵書目録 歴史篇（〃）  
 蔵書目録 自然科学篇（〃）  
 蔵書目録 工学篇（〃）  
 蔵書目録 産業篇（〃）  
 蔵書目録 芸術篇（〃）  
 蔵書目録 語学篇（〃）  
 蔵書目録（豊島区立千早図書館）  
 三康図書館蔵書目録・地理地誌編（三康文化研究所）  
 三康図書館蔵書目録 児童書編（〃）

- 三康図書館蔵書目録 哲学・宗教編  
三康図書館雑誌目録（〃）  
増加図書目録（伊勢崎市立図書館）  
京都府立総合資料館貴重書目録  
額原文庫目録（京都大学文学部図書室）  
須田文庫目録（京都大学文学部図書室）  
田辺文庫目録（京都大学文学部図書室）  
東京都立中央図書館蔵書目録（東京都立中央図書館）  
宇都宮大学雑誌目録（宇都宮大学附属図書館）  
蔵書目録（宮城県図書館）  
蔵書目録（徳山市立図書館）  
図書分類目録（〃）  
神宮文庫増加図書目録（神宮文庫）  
神宮文庫書名索引（〃）  
徳島県立図書館蔵書目録（徳島県立図書館）  
宙童文庫目録（興風会図書館）  
図書目録（徳島市中央公民館附属図書館）  
和本目録（岐阜市立図書館）  
アトコナー図書館目録（岐阜市立図書館）  
九州芸術工科大学附属図書館蔵書目録（九州芸術工科大学）  
九州芸術工科大学附属図書館増加図書目録（〃）  
増加図書目録（本庄市立図書館）  
郷土資料目録（出雲図書館）  
郷土資料目録（磐田市立図書館）
- 赤松文庫目録（磐田市立図書館）  
山崎文庫目録（大阪女子大学附属図書館）  
山口市児童文化センター・山口市立児童図書館児童図書目録  
岩瀬文庫図書目録（岩瀬文庫）  
絵草紙目録（名古屋市鶴舞中央図書館）  
総合雑誌目録（〃）  
名古屋市史資料目録（〃）  
郷土資料目録（名張市立図書館）  
東京地域資料目録（東京品川区立図書館）  
大垣市立図書館漢籍目録（大垣市立図書館）  
郷土人の著作（安城市立図書館）  
上野文庫解題目録（京都大学経済学部）  
京都大学谷村文庫目録（京都大学附属図書館）  
岩見文庫郷土資料目録（弘前市立図書館）  
春日井市立図書館郷土資料目録（春日井市教育委員会）  
蔵書目録（岡山県総合文化センター）  
郷土資料目録（市立熱海図書館）  
藤森桂谷文庫分類目録（豊科町立図書館）  
弘前図書館蔵書目録（弘前市立弘前図書館）  
九州芸術工科大学目録（九州芸術工科大学）  
図書追加目録（花巻市立花巻図書館）  
増加図書目録（川内市立図書館）  
古和書漢籍目録（尾道市立尾道図書館）
- 増加図書目録（市立松本図書館）  
天橋義塾目録  
新井文庫図書目録（宇部市立図書館）  
板倉文庫解説目録・牧野信一資料解説目録・報徳集書目録（小田原市立図書館）  
山県公文庫目録（小田原市立図書館）  
福田正夫―追想と資料（〃）  
小田原有信会文庫解説目録（〃）  
片岡文庫解説目録（〃）  
山崎元幹文庫目録（〃）  
郷土資料目録（広島市立浅野図書館）  
広島市立浅野図書館蔵古書目録  
参考図書目録（吹田市立図書館）  
大阪市立中央図書館蔵書目録  
金刀比羅図書目録  
讃岐優秀典籍展覧会解説目録（市立高松美術館）  
香川県立図書館、香川国語国文学会  
徳川文庫蔵書目録（清水市立図書館）  
大江文庫本目録（東京家政学院大学図書館）  
郷土資料増加目録（鹿児島県立図書館）  
郷土資料分類目録（〃）  
玉里文庫目録（鹿児島大学附属図書館）  
中村市史（高知県中村市）  
群馬県渋川市合併町村近世文書記録並びに行政史料目録概要（群馬県渋川市 小山宏）  
渋川市郷土資料総合目録（市立渋川浅野記念図書館内 小山宏）  
道空謠全旧蔵書目録・哲誠文庫（関山文庫）（東海学園女子短期大学図書館）
- 大垣市立図書館漢籍目録（大垣市立図書館）  
聖澤文庫目録（新潟大学講師井上鋭夫 他）  
蔵書目録（沼津市立駿河図書館）  
郷土関係資料目録（明石工業高等専門学校）  
郷土資料目録（高松市立図書館）  
大分県郷土資料所在調査資料（大分県立大分図書館）  
郷土資料目録（大分県立大分図書館）  
郷土資料増加目録（〃）  
図書総目録（塩見文庫）  
対山館文庫目録（伝習館郷土文庫―九州大学国語国文学研究室）  
新着図書目録（一宮市立豊島図書館）  
蔵書目録（一宮市立図書館）  
善本百選（天理図書館蔵）（天理ギヤラリー）  
古活字本目録（天理図書館）  
聖廟附属資料目録（多久市立図書館）  
多久家文書目録・第一集（〃）  
多久家文書目録・第四集（〃）  
鳴打家資料目録（〃）  
福井県立図書館蔵書目録  
香川県郷土資料総合目録・第四集（香川図書館協会）  
新収図書目録（東京大学東洋文化研究所図書室）  
逐次刊行物目録（〃）  
地域経済資料目録（東京大学経済学部資料室）  
都道府県統計書目録（〃 研究室）  
社史・実業家伝記目録（〃）

統計史・実業家伝記目録（東京大学  
経済学部）  
 營業報告書目録（〃）  
 地方史目録（〃）  
 明治文獻目録（〃）  
 蔵書目録—郷土資料篇第一集（川崎  
市立中原図書館）  
 高野山（国文学・国語学・中国文  
学・語学）  
 文獻目録（高野山大学国文学会）  
 蔵書目録（裾野市鈴木育英図書館）  
 東町立図書館蔵書目録  
 同右・追加目録  
 増加図書目録（新潟県立新潟図書館）  
 佐野文庫敬徳書院蔵書目録  
 佐渡群書類目録  
 郷土資料目録（大牟田市立図書館）  
 秘籍図録（天理図書館）  
 綿屋文庫連歌俳諧書目録（〃）  
 天理図書館稀書目録—和漢書之部第  
三（〃）  
 吉田文庫神道書目録（〃）  
 逐次刊行書目録（〃）  
 東京大学近世文学資料展展示書目録  
—付解説（東京大学総合図書館・日  
本近世文学会）  
 蘭学資料展展示書目録（東京大学総合  
図書館）  
 特別展示目録（〃）  
 鷗外資料展展示目録（〃）  
 ダンテ展展示目録（〃）  
 漱石生誕百年記念資料展目録（〃）

EXHIBITION OF BOOKS (pre-  
sented by H.M. GOVERNME-  
NT to THE IMPERIAL UNI-  
VERSITY)  
 The University of Tokyo (Catalo-  
gue 1966—1967 (THE UNIVER-  
SITY OF TOKYO))  
 CATALOGUE of the NANKI  
BUNKO (南葵文庫)  
 南葵文庫概要（〃）  
 南葵文庫蔵書目録（〃）  
 南葵文庫図書目録（〃）  
 南葵文庫蔵書目録索引（〃）  
 東京大学継統受入雑誌所在目録と文  
編（東京大学附属図書館）  
 同・欧文編（〃）  
 東京帝国大学和漢図書目録—第一編  
総記及雑載、第五編法律・政治、増  
加第一—増加第七  
東京帝国大学洋書目録—第一編総記  
及雑載、第五編法律及政治、増加第  
一—第六  
史料編纂所図書目録—写本一—写本  
八、刊本一—刊本四  
丸山健一氏寄贈図書仮目録（笠岡市  
立図書館）  
図書目録（津島市図書館）  
蓬左文庫図書目録（名古屋市教育局  
委員会）  
漢籍目録（愛知学芸大学附属図書館  
名古屋分館）  
蓬左文庫古絵図目録（名古屋市教育局  
委員会）  
小笠原流伝書目録（〃）  
B.H. Chamberlain 文庫蔵書目録  
（愛知学芸大学附属図書館）  
堀家所蔵古書・其他古書目録（市立  
飯田図書館）

市岡家所蔵古書目録  
 蔵書目録・語学編文学編1（福島県  
立図書館）  
 佐藤文庫目録（〃）  
 佐藤文庫増加目録（〃）  
 芭蕉文庫目録（芭蕉翁顕彰会）  
 蓬左文庫国書目録・地誌文部（名古  
屋市教育局）  
 蓬左文庫朝鮮本展覧目録（〃）  
 蓬左文庫駿河御讀本目録（蓬左文庫）  
 加賀橋本とその旧蔵者（歌舞伎台本  
目録解説）（池田文庫）  
 玄武洞文庫解題目録（大阪府立図書  
館）  
 増加図書目録（市立松本図書館）  
 新収図書目録（山口県立山口図書館）  
 香川大学増加図書目録（香川大学附  
属図書館）  
 福岡県文化会館新収図書目録（福岡  
県文化会館）  
 小笠原文書目録（〃）  
 参考図書目録（〃）  
 行政資料目録（〃）  
 福岡県近世文書目録（〃）  
 公害関係資料目録（〃）  
 郷土資料総合目録追録（島根県立図  
書館）  
 上野図書館和漢書書名目録（国立国  
会図書館）  
 本草関係図書目録・上下（国会図  
書館支部・上野図書館）  
 東京書籍館における旧藩蔵書の収集  
（国立国会図書館）  
 蔵書目録（県立長野図書館）

図書目録（東京都目黒区立守屋図書  
館）  
 蔵書目録（〃）  
 郷土資料目録（高知県立図書館）  
 山城少孫文庫目録（文楽協会）  
 茨城県史料（茨城県）  
 神宮徴古館列品総目録  
 大賀文庫目録（東京都府中図書館）  
 多久家文書目録・第一集（多久市立  
図書館）  
 東北方言研究文獻目録（東北大学文  
学部東北文化研究室）  
 関西大学泊園文庫蔵書目・同索引  
（関西大学文学部）  
 生田文庫・頼原文庫目録（関西大学  
所蔵）（関西大学図書館）  
 大阪関係資料月報（〃）  
 対山館文庫目録（伝習館郷土文庫）  
 愛知県郷土資料総合目録（愛知図書  
館協会）  
 帝国図書館和漢図書書名目録 第四  
編アーサ、第四編シート、第四編ナ  
ーワ、第五編アーク、第五編サ  
ータ、第五編チャーワ、第五編補遺、第  
六編アリス、第六編セーワ・付録、  
第七編  
帝国図書館・国立図書館和漢書分  
類目録  
国立国会図書館蔵書目録 第四編芸  
術・語学・文学  
国立国会図書館蔵書目録、昭和23  
年、書名索引  
日本地方史誌目録総覧（国立国会図  
書館）  
郷土資料目録（香川県立図書館）  
聖澤文庫目録

- 堀家所蔵古書、其他古書目録、市岡家所蔵古書目録（市立飯田図書館）  
初雁文庫目録  
増加図書目録（豊田市立図書館）  
参考図書目録（東京都目黒区立守屋図書館）  
図書目録（現代詩文庫）（前橋市立図書館）  
児童図書目録（〃）  
増加図書目録（〃）  
連歌俳諧書目録（東京大学出版会）  
蔵書目録（愛知県立芸術大学附属図書館）  
雑誌目録（愛知県立芸術大学）  
新受入図書目録（富士宮市立図書館）  
多和文庫蔵書目録  
古文書類目録（旧平戸松浦家所蔵）（松浦史料博物館）  
図書類目録 其一（〃）  
図書類目録 其二（〃）  
琉球郷土資料目録（琉球大学附属図書館）  
曉霞文庫目録（埼玉県立浦和図書館）  
郷土資料増加目録（熊本県立図書館）  
和漢図書目録（尼崎市立図書館）  
森文庫図書目録（徳島県立図書館）  
土浦市史編集資料（土浦市史編集委員会）  
東京大学東洋文化研究所漢籍分類目録  
金沢文庫蔵書目録（神奈川県立金沢文庫）  
平沼文庫蔵書目録第一輯（無窮会）  
平沼文庫蔵書目録第二輯（〃）  
天淵文庫蔵書目録（〃）
- 細川家関係文庫所蔵文学資料ファイル目録（熊本大学法文学部国語国文学研究室編）  
郷土資料目録（山口県立萩図書館）  
フェリス学院大学図書館目録  
在西日本連歌俳諧資料展目録  
織田文庫図書目録  
酒田市立光丘図書館社会科学書目録  
酒田市立光丘図書館物語小説目録  
酒田市立光丘図書館物語小説目録その二  
酒田市立光丘図書館俳諧書目録  
酒田市立光丘図書館和歌書目録  
酒田市立光丘図書館芸術書目録  
瀬戸内国文学本文献目録（広島大学文学部広島中世文学研究会）  
新井家文書目録（行田市立行田図書館）  
古地図絵図録（佐賀県史料刊行会）  
上田秋成関係資料目録（天理図書館蔵）  
京都府関係文献目録（京都府立総合資料館）  
愛知県立大学愛知県立女子短期大学雑誌目録一九七二  
高野山文化財目録（高野山文化保存会）  
名古屋市史資料目録（名古屋市鶴舞中央図書館）  
愛知県立大学県立女子短大雑誌目録一九七三  
市立名古屋図書館別置目録  
言文一致（物集高見著）全  
大学解 全  
温泉遊草 全
- 徂徠先生学則  
講学艱策録  
多和文庫書籍目録  
福島県立図書館増加目録 昭和四十六年  
国立教育研究所附属教育図書館蔵書目録  
山形県立図書館郷土資料目録一、二  
山形県立図書館蔵書目録 総記／工学・工業／哲学・宗教／歴史・地誌／自然科学／産業／芸術／社会科学  
大州市立図書館 矢野玄道文庫分類目録  
香川県文化会館 郷土資料室列品目録二部  
観音寺市木ノ郷 高橋巧氏所蔵「切支丹来朝美録」写本一冊  
善通寺市 善通寺所蔵「正徹詠首言和歌」  
現代の眼（東京国立近代美術館ニュース）  
比較文化（東京女子大学比較文化研究所）  
香川中国学会報  
表現学会第九回全国大会研究発表要旨  
北大近世文学研究会会報  
短期大学教育（日本私立短期大学協会）  
東書高校通信国語  
日本古典文学学会会報  
日本文学風土学会会報  
表現研究（表現学会）  
アジア・アフリカ言語文化研究所通信  
国学院大学日本文化研究所紀要
- コンテツツ・アナウンスメント（文部省図書館）  
難読姓氏（東北大学附属図書館）  
矢島玄亮編著 漢学者伝索引一総合伝記索引（東北大学附属図書館）  
未刊隨筆六八種索引（〃）  
難読書名・第二集（〃）  
丹後伊根の昔話（京都府立総合資料館）  
ははきくさ（三河アララギ発行所）  
句集看雲（長瀬紫鳥庵）  
新讃岐酒史（香川県酒造組合連合会）  
浜松県公撰民会覚書（浜松市立図書館）  
うみかぜ（逗子市立図書館）  
古典芸入門（中古・中世文学研究会編）  
変体かな字典（山梨英和短期大学国文研）  
復刻有島武郎・或る女のグリンプス（福田準之輔）  
松平頼重伝（松平公益会）  
金刀比羅宮応奉画集（金比羅宮社務所）  
鴻巣史話（鴻巣市郷土研究会編）  
国宝さぬき日記  
通信（アジア・アフリカ言語文化研究所）  
浅野図書館だより（広島市立浅野図書館）  
南部仏教（南部仏教研究会 東大寺）  
人文（京都大学人文科学研究所）  
コンテツツ・アナウンスメント（文部省図書館）  
資料月報第九号（〃）

- 歌集・黄素馨の門(御津磯夫)  
はまきくさⅠⅡ(〃編)  
陀羅尼の花(御津磯夫)  
三河アララギ歌集Ⅱ(三河アララギ会)  
ノボタンの恵(御津磯夫)  
海辺独唱ⅠⅡ3(〃)  
歌集スモン(〃)  
かぜくさ(〃)  
資料月報(文部省図書館)  
上伊那図書館三十年史  
四国八十八箇所を中心とする文化財(香川県)  
弄花抄(平瀬家旧蔵本)(伊井春樹校・解説 広島平安文学研究会)  
源氏物語大意上・下(高谷美恵子、藤河利昭校・解説)  
能因本枕草子(稻賀敏二校・解説)  
源語梯上・中・下(菅原敏三、斎木泰孝)  
源氏物語一葉抄(稻賀敏二、福島律子)  
源氏こぼれ草(源氏物語読書会、代表・仲田康幸)  
高良玉垂宮神秘書同紙背(高良神社)  
図書館要覧(高知市民図書館)  
ことひら(昭和四十八年新春号)  
魯迅全集注釈索引(東京大学東洋文化研究所附属東洋学文献センター)  
研究所だより(同志社女子大学)  
金刀比羅宮蔵経軍記絵巻模本  
金刀比羅宮蔵平家公達絵巻模本  
金刀比羅宮蔵六波羅行幸絵詞模本  
香川史学創刊号(香川歴史学会)
- 香川史学第二号(〃)  
白山神頂(白山を中心とする文化財)(近藤喜博)  
日本演劇学会会報(日本演劇学会)  
図書館やまぐち(山口県立山口図書館)  
遡遊従之(大阪府立図書館)  
大伴家持の類歌類句(大越寛文)  
後撰和歌集総索引(大阪女子大学創立四十周年記念出版)  
蕉村連句注釈他第一輯(野村二三)  
義仲寺六〇号・七四号  
福岡県立図書館蔵「霞閣集」について(松野陽一)  
小泉八雲と姚律(明治百年記念)(北山宏明)  
鴻山文庫本の研究(表章)  
北陸史学  
富山史壇  
近世文学作家と作品(中村幸彦著、中央公論社刊)  
古能(小島吉雄著、初音書房刊)  
翻刻・成美連句録(石川真弘)  
「東山往来」の撰者定深とその撰作年代(山内潤三)  
高野山石塔碑文攷(〃)  
上野図書館紀要  
月照寺寺伝  
源氏歌可賀美(複写)  
源氏大綱抄(〃)  
猿投神社蔵典籍略解並翻刻(愛知県史料叢刊行会)  
熱田神宮の連歌と俳諧(熱田神宮文化叢書第二)
- 関西大学論文目録  
品川の歴史シリーズ(地名編)(東京品川区教育委員会)  
北村季吟日記(北村季吟大人遺著刊行会)  
近世史料Ⅲ(飯沼新発記)(茨城県史編纂委員会)  
茨城県幕末年表(〃)  
JOURNAL OF THE TOKYO UNIVERSITY OF FISHERIES(東京水産大学)  
大須観音真福寺略史  
万有百科大事典(小学館)  
京都国立近代美術館年報  
東洋(東洋大学通信教育部)  
豊田市民俳句集(豊田市民俳句会)  
三重県文化財要覧(三重県教育委員会)  
東洋文庫刊行物目録(東洋文庫)  
京都大学一覽(京都大学庶務部広報調査課)  
伴信友文庫目録(小浜市立図書館)  
福岡大学図書館報  
播磨太山寺文書  
史跡内館文庫―秋田県文化財(鷹巣町教育委員会)  
義仲寺と蝶夢  
義仲寺  
奈良絵本と丹緑本(天理図書館)  
日本古典文学館複製本(既刊全冊)  
笠間書院印本―和漢書画古筆鑑定家印譜 伊達本古今和歌集、出雲国風土記、蜻蛉日記、詠調之大概、去來抄、三冊子、宇津保物語後巻、和歌秘伝抄、無名草子、新撰古筆名集、新古今和歌集上下、御所本四条宮下野集、御物更級日記、御所本伊勢物語、夕かほ、桐つほ、土佐日記、堺本枕草子上下、水無瀬窓十五首歌合、若宮歌合、桜宮十五首歌合、御所本和漢兼作集、本院侍從集、清少納言集、紫式部集、大式三位集、浜松中納言物語一五、徒然草、曾弥好忠集、黒川本紫日記、蘭原本和泉式部日記、とはすがたり一五、百人秀歌、百人一首一首、百人一首抄、能因本枕草子上下、御所本大斎院御集、大斎院前の御集、王朝文学の考証的研究 迫徹朗著、東京大学東洋文化研究所漢籍分類目録  
悲運の南朝皇胤並自天王祭祀について  
附音増広古注蒙求、蒙求和歌 枳尾武  
国際理科教育調査、IEA日本国内委員会報告書(国立国語研究所)  
天理ギャラー第三五回「秋所」(東京天理教館)  
女流文人秋枝家子とその周辺(前田淑)(福岡女学院短期大学紀要第九号抜刷)  
茨城県資料・近代産業編Ⅱ  
鹿持雅澄遺稿(高知大学文学部)  
早稲田大学図書館所蔵二葉亭四迷資料(早稲田大学図書館紀要別冊1)  
早稲田大学図書館所蔵古短冊集目録二種(〃22)  
早稲田大学図書館所蔵典亭馬琴書簡集(〃3)  
鴻巣史話(鴻巣市郷土研究会)  
鹿山文庫と佐倉藩字の推移(滴草充雄)  
昭和四十六年度中野区における電子計算組織のあゆみ  
鳥取県立鳥取図書館四十年史

相丹陶綾郡旧村方資料第二輯西小磯  
村文書(一)  
大磯町教育委員会  
国学院大学日本文化研究所昭和四十  
七年度事業概況 四十八年度事業計  
画  
神宮文庫漢籍善本解題(長沢規矩  
也)  
護得久本遺老説伝(沖繩県立図書  
館)  
奈良国立文化財研究所二十年史付平  
城宮跡発掘成果図  
津軽史(解題書目第一集) (青森県  
立図書館)  
宮省指令留・官省顧問届(解題書目  
第三集)  
東京国立博物館百年史(東京国立博  
物館)  
東京国立博物館百年史(資料編)  
東京大学文学部所蔵雑誌目録(和文  
編)(東京大学文学部図書室)  
島田教授古稀記念国文学論集(関西  
大学文学会)

国文学研究資料館評議員名簿  
(五十音順)

館長

麻生 磯次 石井 良助  
臼田 甚五郎 大久保 利謙  
木村 礎 児玉 幸多  
小葉田 淳 佐々木 八郎  
佐藤 喜代治 杉本 勲  
鈴木 忠直 手塚 富雄  
豊田 武 中村 幸彦  
野間 光辰 久松 潜一  
古島 敏雄 宝月 圭吾

国文学研究資料館職員名簿(抄)

松尾 聡 山岸 徳平 研究情報部  
古川 清彦 本田 康雄  
岡 雅彦 田嶋 一夫  
和 田 英道  
史料館  
鈴木 寿 原島 陽一  
鎌田 永吉 榎本 宗次  
鶴岡実枝子 中村俊亀智  
藤村潤一郎 大野 瑞男  
浅井 潤子  
文献資料部  
大久保 正 松田 修  
福田 秀一 日野 龍夫  
杉山 重行  
管理部  
市古 貞次  
吉野 幸夫 川崎仁一郎  
宮崎 久敬  
庶務課  
課「庶務、教及び人事に関する事務を行なう。  
課「会計、施設の整備および庁舎の管理に関す  
る事務を行なう。」

国文学研究資料館報 第二号  
昭和四十八年八月二十八日 発行  
編集・発行者  
国文学研究資料館  
東京都品川区豊町二ノ六ノ二  
郵便番号 一四二  
電話 (七八三)九一〇六(代)  
印刷所 ウチダ印刷株式会社